

第 8 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

平成 3 0 年 7 月 2 6 日

定 例 会

平成30年第8回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 平成30年7月26日（午前の部）
 招集の場所 第3委員会室
 開閉会日時 開会7月26日 午前 9時30分
 閉会7月26日 午前11時44分

出席委員

委員長	住田 俊	委員 長者 職務代理者	堀川 智子
委員	進藤 秀子	委員	荒木 明子
委員 (教育長)	吉田 茂		

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	永 福 徹	学校教育部長	瀧 田 優
教育総務部 副部長兼 生涯学習課長	福 田 博	学校教育部 副参事兼 学務課長	岡 本 順
教育総務課長	渡 辺 真 浩	学校教育部 副参事兼 給食課長	石 川 智 啓
スポーツ振興 課 長	八木下 太	学校教育部 副参事兼教育 センター所長	鈴 木 雅 彦
図書館長	横 山 みどり	学校管理課長	紺 野 功
生涯学習課 調整幹兼 科学技術体験 センター所長	小 林 中 子	指導課長	山 口 徳 明
生涯学習課 調整幹	中 野 聡	学校管理課 調整幹	齋 藤 道 雄
		指導課調整幹	青 木 元 秀
		給食課 調整幹兼 第一学校給食 センター所長	中 山 佳 孝
		教育センター 調整幹	原 田 肇 子

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 課 長	並 木 智 史
----------------	---------

平成30年第8回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 平成30年7月26日（午後の部）
 招集の場所 第3委員会室
 開閉会日時 開会7月26日 午後 1時00分
 閉会7月26日 午後 4時01分

出席委員

委 員 長	住 田 俊	委 員 長 職務代理者	堀 川 智 子
委 員	進 藤 秀 子	委 員	荒 木 明 子
委 員 (教育長)	吉 田 茂		

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	永 福 徹	学校教育部長	瀧 田 優
教育総務部 副部長兼 生涯学習課長	福 田 博	学校教育部 副参事兼 学務課長	岡 本 順
教育総務課長	渡 辺 真 浩	学校教育部 副参事兼教育 センター所長	鈴 木 雅 彦
		指 導 課 長	山 口 徳 明
		指導課調整幹	青 木 元 秀
		教育センター 調 整 幹	原 田 肇 子

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 課 長	並 木 智 史
----------------	---------

◎開会の宣告

住田委員長 それでは、これより7月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、22名の方から傍聴許可願が提出されておりますが、第29号議案については、人事案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前 9時30分)

住田委員長 ここで、傍聴人の入室をお願いいたします。

〔傍聴人入室〕

住田委員長 それでは、傍聴される皆様におかれましては、傍聴の心得の内容をお守りいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

ここで、本日の議事の進行についてお諮りいたします。

第33号議案 平成31年度使用小中学校教科用図書の採択については、長時間の審議を要する議案であるため、通常の議案及び協議事項が終了した後審議に入りたいと存じますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

◎第30号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

第31号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱について

第32号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について

住田委員長 それでは、第30号議案から第32号議案につきましては、附属機関の委員の任期満了に伴う委員の委嘱または任命に係る案件でございますので、一括して説明を受けた後、各議案に対する質疑、討論を行うことといたします。

教育長のご説明をお願いいたします。

吉田教育長 学務課長。

岡本学務課長 それでは、第30号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱についてご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の5ページをお開きください。

第30号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について。

越谷市立小中学校学区審議会委員を別紙のとおり委嘱するものとする。

平成30年7月26日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市立小中学校学区審議会委員が平成30年8月7日をもって任期満了となるので、その後任委員を委嘱する必要があるため提案するものでございます。

続きまして、会議要項の7ページをご覧ください。

学区審議会につきましては、越谷市立小中学校学区審議会条例第3条第1項の規定により、委員20人以内で組織するものとされております。

また、構成は同条第2項の規定に基づき、1号委員として自治会長、2号委員として小中学校長、3号委員としてPTA会長、そして4号委員として知識経験者となっております。

任期は、同条例第4条第1項において2年間と規定されており、今回委嘱させていただく委員の皆様方につきましては、平成30年8月8日から平成32年8月7日までとなります。

名簿は、選出区分、氏名、選出母体・役職等、性別、任期の順に掲載しております。

それでは、順に読み上げさせていただきます。その際、選出母体・役職等、性別、任期及び敬称については、省略をさせていただきます。

初めに、1号委員の自治会長ですが、石崎一宏の1名でございます。

次に、2号委員の小中学校長ですが、野口久男、大西久雄の計2名でございます。

続いて、3号委員のPTA会長ですが、奥田正樹、小野靖浩の計2名でございます。

最後に、4号委員の知識経験者ですが、福島茂樹、遠藤敏子、會田良光、渡邊明子、松沢啓美、初鹿和子、藤木拓光、中山有子、若井秀昭、青柳公枝、内田泰代、前川佳也、山下とも代、今井陽子、会田容子の計15名でございます。

以上20名の委員構成でございますが、男性が10名、女性が10名で、女性の比率は50%となっております。また、新任の方は8名、再任の方は12名でございます。

第30号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 図書館長。

横山図書館長 続きまして、第31号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱についてご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の9ページをご覧ください。

第31号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱について。

越谷市立図書館協議会委員を別紙のとおり委嘱するものとする。

平成30年7月26日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市立図書館協議会委員が平成30年7月31日をもって任期満了となるので、その後任委員を委嘱する必要があるため、提案するものでございます。

恐れ入りますが、会議要項の11ページの委員名簿をご覧ください。

図書館協議会につきましては、越谷市立図書館協議会条例第2条の規定により、委員12名で組織するものとされております。また、構成は同条例第1条第2項の規定に基づき、1号委員として市内に設置された学校の教育関係者、2号委員として市内で活動する社会教育関係者、3号委員として市内で家庭教育の向上に資する活動を行う者、4号委員として学識経験者となっております。

任期は、同条例第3条において2年間と規定されており、今回委嘱させていただく委員の皆様方につきましては、平成30年8月1日から平成32年7月31日までとなります。

名簿は、選出区分、氏名、選出母体・役職等、性別、任期の順に掲載しております。

それでは、順に読み上げさせていただきますが、その際、選出母体・役職等、性別、任期及び敬称につきましては省略をさせていただきます。

初めに、1号委員の市内に設置された学校の教育関係者ですが、志津田萌子、中井美穂、尾城一幸の計3名でございます。

次に、2号委員の市内で活動する社会教育関係者ですが、重田弘子、護得久かつ子、島根晴紀、山田あい子の計4名でございます。

続いて、3号委員の市内で家庭教育の向上に資する活動を行う者ですが、吾妻美紀の1名でございます。

最後に、4号委員の学識経験者ですが、鈴木正紀、後藤孟司、海老原恵子、岩元久徳の計4名でございます。

以上の12名の委員構成でございますが、男性が5名、女性が7名で、女性の比率は58.3%となっております。また、新任の方は11名、再任の方は1名でございます。

第31号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 それでは、第32号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命についてご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の13ページをお開きください。

第32号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について。

越谷市スポーツ推進審議会委員を別紙のとおり任命するものとする。

平成30年7月26日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市スポーツ推進審議会委員が平成30年7月31日をもって任期満了となりますので、その後任委員を任命する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の15ページをご覧ください。

越谷市スポーツ推進審議会につきましては、越谷市スポーツ推進審議会条例第3条第1項の規定に基づき、18名以内の委員で組織するものとされております。また、構成は同条第2項の規定

に基づき、1号委員として学識経験のある者、2号委員として関係行政機関の職員、3号委員としてスポーツ関係団体等の代表者、4号委員として公募による市民となっております。

任期は、同条例第4条第1項において2年と規定されており、今回任命する委員の皆様方につきましては、平成30年8月1日から平成32年7月31日までとなります。

名簿は、選出区分、氏名、選出母体・役職等、性別、任期の順に掲載しております。

それでは、順に読み上げさせていただきますが、その際、選出母体・役職等、性別、任期及び敬称につきましては省略させていただきます。

まず、1号委員の学識経験のある者ですが、佐藤正伸、佐藤雄二の計2名でございます。

次に、2号委員の関係行政機関の職員ですが、梅島準一、鈴木寿一、井出聡、立澤悟の計4名でございます。

次に、3号委員のスポーツ関係団体等の代表者ですが、田中茂夫、那花和子、桑原良一、関口美恵子、浅見昭一、菊島智代子、榎本薫の計7名でございます。

最後に、4号委員の公募による市民ですが、角田範夫、村井玉枝、山口光子、井手均、倉田さえ子の計5名でございます。

以上18名の委員構成でございますが、男性が11名、女性が7名で、女性の比率は38.8%となっております。また、新任の委員の方が8名、再任の方が10名でございます。

第32号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

住田委員長 これより本案に対し質疑、討論を行います。

初めに、第30号議案 越谷市立小中学校学区審議会委員の委嘱について、ご質問またはご意見等ございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 これより第30号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、本案は原案どおり可決いたしました。

次に、第31号議案 越谷市立図書館協議会委員の委嘱について、ご質問またはご意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 では、第31号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、本案は原案どおり可決いたしました。

次に、第32号議案 越谷市スポーツ推進審議会委員の任命について、ご質問またはご意見等ご

ざいますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、第32号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、本案は原案どおり可決いたしました。

◎教育外部評価者及び教育外部評価の対象となる施策について

住田委員長 続きまして、協議事項に入ります。

「教育外部評価者及び教育外部評価の対象となる施策について」、教育長のご説明をお願いいたします。

吉田教育長 教育総務課長。

渡辺教育総務課長 それでは、平成30年度教育委員会の事務に関する点検評価における教育外部評価者及び教育外部評価の対象となる施策についてご説明いたします。

5月の定例教育委員会会議において、平成30年度教育委員会の事務に関する点検及び評価の実施要領についてご協議いただいたところですが、本日は教育に関し学識経験を有する者による外部評価を実施するに当たり、教育外部評価者及び教育外部評価の対象となる施策についてご協議いただき、ご意見等をお伺いできればと存じますので、よろしくお願いいたします。

恐れ入りますが、会議要項23ページをお開きください。

初めに、教育外部評価者につきましては、昨年度と同様3名の方をお願いしたいと考えております。

まず、お一人目は野口淳一氏でございます。野口氏は、主に教育現場において小学校長を歴任された後、鳩ヶ谷市教育委員会教育長として教育行政の推進に尽力されました。また、退職後は学校評議員や人権擁護委員を務めるなど、幅広い分野でご活躍されております。

お二人目は、昨年度に引き続きまして、文教大学からご推薦いただきました人間科学部人間科学科専任講師の村上純一氏でございます。村上氏は、教育学を専門としており、教育行政学、学校経営論、キャリア教育政策論に関する研究をされております。

3人目は、埼玉県立大学からご推薦いただきました保健医療福祉学部共通教育科准教授の森正樹氏でございます。森氏は、主に特別支援教育・臨床発達心理学の研究をされており、特別支援教育巡回相談員や発達支援訪問指導員等の実践に長年携わってこられた経験がございます。

以上、教育外部評価者の3名の方々には、教育外部評価の対象となる施策の内容だけでなく、教育振興基本計画や教育行政重点施策においてもご理解いただいた上で、それぞれのお立場から越谷市の実情を踏まえたご提言をいただきたいと考えております。

続きまして、教育外部評価の対象となる施策につきましては、事務局案といたしまして次の4項目を設定いたしました。まず、学校教育に係る基本目標1からは、「指導内容の充実と指導方法の工夫改善」及び「学校給食の充実と食育の推進」、生涯学習に係る基本目標2からは、「図書館の充実」、生涯スポーツに係る基本目標3からは、「活動機会の充実」でございます。第2期越谷市教育振興基本計画に位置づけられた全27項目の施策の中から、この4項目を選定するに当たりましては、新規・拡充した事業の有無や過去に実施した外部評価との関連性などを考慮し、調整させていただきました。

次に、24ページから27ページですが、参考として全27項目の施策のうち、教育外部評価の対象となる施策を網かけで表示してございますので、ご参照いただければと存じます。

続きまして、28ページから35ページですが、こちらにつきましては教育外部評価の対象となる施策に係る内部評価調書を掲載させていただいております。現時点での各課所の評価結果を記載してございますので、ご参照いただければと存じます。

また、36ページ以降には、教育外部評価結果を記載する表を掲載してございます。なお、本日教育外部評価者及び教育外部評価の対象となる施策を決定していただいた後に、予定では8月21日に外部評価者によるヒアリングを実施し、ヒアリング結果を踏まえて外部評価者のご意見をいただきたいと考えております。その後、10月の定例教育委員会会議において、教育外部評価の実施結果等を含めた全27項目の施策全ての評価調書につきまして内容をご協議いただき、これを次年度の教育行政重点施策及び当初予算の編成に反映することで、PDCAのマネジメントサイクルに基づき、点検評価の結果を改革・改善へとつなげていきたいと考えております。

教育外部評価者及び教育外部評価の対象となる施策についての説明は以上でございます。ご協議のほどよろしくお願いいたします。

住田委員長 これより協議に入ります。

ご意見等ございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 これから3人の先生方にご審議していただいてアドバイス等いただくわけですが、35ページのスポーツ振興課さんに1つご質問なのですが、35ページ、④、成人の健康・体力づくりの支援の課題のところに、対象者は多いものの、開催要望がさほど多くないという記述がありますけれども、要望が多くないという理由はどのようなことが考えられますでしょうか。

吉田教育長 スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 成人の方々のスポーツの要望というのは、近年民間のスポーツジムですとか、そういったところでの活動されている方は多いですが、日中のスポーツ教室等にはなかなか参加ができないということや、あと仮に各種体育協会やレクリエーション協会等の加盟団体に

についてもお聞きしたところ、会員の方々もなかなか団体スポーツとなると、若い方の新規の加入というのが最近ない。団体自体も年々高齢化しているというお話もいただいておりますので、成人の方々に対しての活動機会を充実させるということで、地域体育館等で行っている夜間の個人開放ですとか、そういったところを利用しながら成人に対する活動機会をなるべく増やしていても、なかなか効果が出ないような状況でございます。

以上です。

堀川委員長職務代理者 わかりました。ありがとうございます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

これから外部評価が始まるわけですが、外部評価についてはよろしいですか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、8月21日、ヒアリング等にかかるのだと思いますが、そのように進めていただきたいと思います。

◎平成30年度越谷市教育費補正予算について

住田委員長 続きまして、「平成30年度越谷市教育費補正予算について」、教育長のご説明をお願いいたします。

吉田教育長 教育総務部長。

永福教育総務部長 それでは、平成30年度の越谷市教育費補正予算の要求内容についてご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、別冊の平成30年度越谷市教育費補正予算総括表及び予算説明書の2ページ、3ページをお開きいただきたいと思います。こちらにつきましては、現在要求段階での金額ということになりますので、ご了承いただきたいと思います。

初めに、歳入についてご説明を申し上げます。

3ページの表の一番下にございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連いたします歳入の要求につきましては、今回1,300万8,000円を追加いたしまして、補正後の総額19億1,784万4,000円となります。

歳入の内容でございますけれども、8ページ及び9ページをお開きください。13款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、幼稚園就園奨励費補助金といたしまして1,200万円を追加いたします。

14款県支出金、2項県補助金、6目教育費県補助金につきましては、スクール・サポート・スタッフ配置事業費補助金として56万8,000円を追加いたします。

同じく14款県支出金、3項委託金、4目教育費委託金につきましては、新しい時代に求められる資質・能力育成事業委託金として15万円を追加いたします。

19款諸収入、6項雑入、1目雑入につきましては、その他雑入といたしまして、市主催のスポーツ大会におけますけがなどに対する市民総合災害等補償金29万円を追加いたします。

次に、歳出の内容でございますが、戻っていただきまして5ページ下段になりますが、教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回、2億1,434万2,000円を追加いただきまして、補正後の総額96億7,244万円となります。

歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

恐縮です。14ページ、15ページをお開きください。1項教育総務費、2目事務局費のうち特別支援教育支援員等配置事業につきましては、特別支援教育支援員等の配置に伴う臨時職員賃金として419万6,000円を追加いたします。

中段の3目学校教育指導費の外国語指導事業につきましては、外国語指導委託料の契約額の確定に伴いまして、865万9,000円を減額いたします。

16ページ、17ページをご覧ください。2項小学校費、1目学校管理費のうち小学校施設改修費につきましては、小学校施設の環境整備に係る工事費として2,342万円を追加いたします。また、その他学校管理費につきましては、明正小学校におけます通学指導委託料として55万円を追加いたします。

中段の3項中学校費、1目学校管理費のうち中学校施設改修費につきましては、中学校施設の環境整備に係ります工事費として8,686万円を追加いたします。

下段の5項幼稚園費、1目幼稚園費の幼稚園就園奨励費につきましては、執行見込額の増加に伴いまして、幼稚園就園奨励費補助金5,000万円を追加するものでございます。

18ページ、19ページをお開きください。6項社会教育費、1目社会教育総務費のうち日本文化伝承の館運営事業につきましては、こしがや能楽堂の空調機交換に係ります工事費として1,231万円を追加いたします。

下段の6項社会教育費、2目少年自然の家費のうち少年自然の家施設改修費につきましては、少年自然の家の真空ボイラー機交換に係ります工事費として1,739万円を追加いたします。

20ページ、21ページになりますが、6項社会教育費、3目コミュニティセンター費のコミュニティセンター管理費につきましては、小ホールの音響調整卓等の購入費として2,000万円を追加いたします。

下段の7項保健体育費、3目体育費のうち屋外体育施設管理費につきましては、市民球場身体障がい者観覧室のエアコン修繕の費用、さらにその他体育費につきましては、市主催のスポーツ大会におけるけがなどに対する補償金43万円を追加するものでございます。

9月補正予算の教育委員会からの要求に関するご説明は以上となります。今後、市長部局と調整を進めてまいることになります。ご協議のほどよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

住田委員長 これより協議に入ります。

ご意見等ございますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 9ページの中ほどですけれども、新しい時代に求められる資質・能力育成事業について、もう少し詳しく教えてください。

吉田教育長 指導課長。

山口指導課長 こちらは、既に各小学校に配置されている県が作成した副読本の活用を進め、環境教育の充実を図っていくことと併せて、学習指導要領の改訂がありますので、新しい時代に求められる環境教育上の資質、能力の育成を図っていくということで、埼玉県から、ぜひ越谷市の中で先進的な小学校があるので、研究を進めてもらえないかということでご依頼がありました。大袋東小学校が長い間環境教育を進めていただいて、県内でも有数の先進校でございますので、県のほうより指定していただいて研究を進めていく。そのための助成金ということで15万円委託されています。

以上でございます。

住田委員長 よろしいですか。

荒木委員 ありがとうございます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 確認になりますが、せんだつての西日本のほうの地震で話題になりましたブロック塀の件なのですが、越谷でも亀裂が入っていたりだとか、あとは不適切なブロック塀があるということで、その修繕は速やかにやるということでしたけれども、そのための予算も今回の補正予算のほうに組み込まれていると考えてよろしいでしょうか。

吉田教育長 学校管理課長。

紺野学校管理課長 今回の9月補正予算の中で、まず小学校費につきましては改修事業の修繕料に、予算を計上させていただいております。中学校につきましても、中学校施設改修費の修繕料に、改修工事費ということで計上させていただいております。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

吉田教育長 修繕については、早急に取りかかっていますよね。

紺野学校管理課長 できるところについては、もう既に取りかかっている部分もございますので、それは現計予算の中で対応させていただいているところで、予算のほうがいただけることになりましたら、早急に対応したいというふうに考えております。

住田委員長 よろしいですか。他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になれば、ご意見等を踏まえまして進めていただきたいと思います。

◎第33号議案 平成31年度使用小中学校教科用図書の採択について

住田委員長 それでは、第33号議案 平成31年度使用小中学校教科用図書の採択について、教育長のご説明をお願いいたします。

吉田教育長 指導課長。

山口指導課長 それでは、第33号議案 平成31年度使用小中学校教科用図書の採択についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の17ページをお開きください。

第33号議案 平成31年度使用小中学校教科用図書の採択について。

平成31年度使用小中学校教科用図書を別紙のとおり採択するものとする。

平成30年7月26日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、小学校教科用図書の採択がえ及び中学校における「特別の教科である道徳」の実施に伴い、平成31年度使用小中学校教科用図書を採択する必要があるため、提案するものでございます。

越谷市立小中学校で使用する教科用図書の採択につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び越谷市立小中学校使用教科用図書の採択に関する要綱第3条の規定により、本市教育委員会で行うこととなっております。

恐れ入りますが、会議要項の19ページをお開きください。今年度採択する教科用図書は、採択一覧表としてお示しいたしましたとおり、特別の教科である道徳を除く小学校用教科用図書12種目及び特別の教科である道徳の中学校用教科用図書の1種目でございます。

なお、採択の手順につきましては、越谷市立小中学校使用教科用図書採択事務要領2の規定により、初めに越谷市立小中学校使用教科用図書選定委員会委員より選定資料に基づく報告を行います。その後、教育委員の皆様からの質疑応答を行い協議いただいた後、採択をお願いいたします。

第33号議案についてのご説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

住田委員長 それでは、教科用図書採択に係る審議に入ります。

審議に入る前に委員の皆様にお諮りいたします。

採択の方法ですけれども、種目ごとに全部の教科用図書発行者について、教育委員がそれぞれ5段階で評価した上で順次無記名で投票し、評価点数の総合計が最も高い教科用図書発行者を採択するというふうにしたいと思っておりますけれども、これでご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、中学校の特別の教科道徳から入りたいと思います。

それでは、選定資料の説明等のために、選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 それでは、中学校特別の教科である道徳の教科用図書について、選定委員より選定資料のご報告をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

母壁選定委員（光陽中校長） 失礼します。それでは、道徳の教科書についての説明を申し上げます。

中学校道徳の8社の教科書について調査の観点の項目ごと、特に2、内容と5、総括の部分を中心に説明いたします。

1、学習指導要領の教科の目標とのかかわりです。東京書籍です。自己の生き方への考えを深めさせるために、教材の冒頭に考えるポイントを示し、教材の終わりに「考えてみよう」があります。内容に対する自分の考えをまとめたり自己評価用紙の活用など、生き方について深く考える工夫があります。他者とのよりよく生きるための道徳性を育成するために、小中の関連に触れながら、付録や補助教具として心情円を用い、具体物から考えたり思ったりしたことを可視化できるような工夫があります。

学校図書です。自己の生き方への考えを深めさせるために、各教材の冒頭に考えるポイントが明示され、教材ごとの終わりに「学びに向かうために」があります。他の仲間の考えを聞く機会が設定されたり、考え、議論する活動を組み合わせるなどの工夫があります。授業で扱う題材に関連する話題に触れる工夫や、「心の扉」や冒頭の「学級づくり」というページを設けていることから、信頼関係や人間関係を醸成するための工夫があります。

教育出版です。自己の生き方への考えを深めさせるために、教材ごとに終わりに「学びの道しるべ」があり、3つの考えるポイントが明示されていることにより、多種多様な教材を通して生徒が多面的、多角的に考え、積極的に取り組めるような工夫があります。「やってみよう」や巻末に掲載されている補助教材を活用することで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育むことができるような工夫があります。

光村です。自己の生き方への考えを深めさせるために、教材ごとの終わりに「学びのテーマ」のページがあり、観点明示や視点を変えた発問が設定されているなど、道徳的価値の自覚を深められるよう多様な見方を補助する工夫があります。他教科で学習する内容の関連などがあり、スポット的な話題を「コラム」として取り上げることで、実践意欲も育成するような工夫があります。

日本文教出版です。自己の生き方への考えを深めさせるために、道徳ノートの話し合いの記述欄があります。教材ごとの終わりに「考えてみよう」では、内容に対しての考えをまとめ、「自分にプラス1」では自身を振り返り、多面的で多角的な考えを引き出す工夫があります。「プラットフォーム」では、具体的な場면을提示しています。また、狙いに到達させたり自分に生かすための

発問例を載せるなどの工夫があります。

学研教育みらいです。自己の生き方への考えを深めさせるために、教材ごとの終わりに「クローズアップ」があります。話し合いや記述などの言語活動を取り入れたり、多様な観点から問題意識を喚起し、人間としての生き方について考えを深められるよう工夫があります。スポット的な話題に「情報モラル」も取り上げながら、中学生が置かれている環境や視野の広がりなど、学年ごとに見詰めさせる工夫もあります。

廣済堂あかつきです。自己の生き方への考えを深めさせるために、「道德ノート」に記述や教材ごとの終わりに「考え、話し合う」欄があります。その欄には学習の手がかりが示してあり、一定期間のまとまりで授業を振り返りながら書き込めたりするなどの工夫があります。「t h i n k i n g」では身近な問題を取り上げ、道德ノートとの併用から、人間のよさや問題点について考えたり、自己の振り返りなどができるような工夫があります。

日本教科書です。自己の生き方への考えを深めさせるために、教材ごとの終わりに「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」があります。さまざまな身近な事例を扱った教材からは、考えるポイントや深めるポイントが明示され、生徒が積極的に取り組めるような工夫があります。スポット的な話題にも身近な問題を取り上げ、家族や友達、学校や社会といったさまざまな視点から考えを深めることができるような工夫があります。

2 番目、内容についてです。東京書籍です。現代的な課題を取り上げる工夫として、いじめ、生命尊重はユニット教材として設けています。発達段階に即し深く狙いに迫るために、冒頭にテーマを示し、道徳的課題を踏まえた上で学習に入る構成になっています。2 時間続きで同じ価値項目について考えることで、深い学びにつなげています。考え、議論する道徳を通して道徳性を育むための工夫として、「話し合いの手引き」として話し合いの手順やルールを巻頭に示し、各教材の「つぶやき」コーナー、グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを設けていて、体験的な学習を取り入れられる工夫があります。

学校図書です。いじめ防止について、直接いじめの問題点に迫る教材と、いじめに転じかねない日常のあり方について考える教材の2 種類が用意されています。「自我関与」、「体験的な学習」、「問題解決的な学習」の各要素を組み合わせた指導が行いやすい構成になっています。また、教材の最後の「学びに向かうために」の発問の上に、「考えよう」、「見つめよう」、「意見交換」といった活動マークが書かれています。独立した型にはこだわらず、体験的な学習や問題解決的な学習の要素を組み合わせる授業を展開できるような構成になっています。

教育出版です。いじめを直接的に扱った教材と間接的に幅広い観点の教材から、いじめを許さない心の育成をする工夫があります。生徒にとって身近な設定や現代的な課題を取り上げた資料をシリーズで掲載して、生徒の興味を引いています。導入発問が用意されていて、初めにクラスで学習の方向性を共有するという工夫があります。また、3 年間を通して自己肯定感を高めたり、

自分の成長を実感できる教材を多く掲載しています。生徒にとって身近な教材を学年に応じて変化をつけながら、3学年を通してシリーズで掲載しています。自分を好きになる、自分に自信を持つことができる教材を積極的に掲載しています。「学びの道しるべ」の発問に工夫があります。

「やってみよう」には、役割演技や日常体験を想起して話し合うことができ、考えや道徳的諸価値を深める工夫があります。

光村図書です。現代的な課題を取り上げる工夫として、学びを深めていけるようコラムを多数設けています。これらは直前の教材とあわせて活用することができます。「学びのテーマ」の提示から、「つなげよう」、「私の気づき」を通して自分の成長を自覚できる工夫があります。書く、話す、聞くを重視した教材を多く取り入れています。学びを他教科や日常生活につなげる工夫も入っています。

日本文教出版です。いじめ防止ユニットを設け、学習の見通しを持つ扉ページを最初に設定しています。いじめが起きやすい時期を押さえて継続的に指導することができます。「考えてみよう」という発問が教材に設置されており、狙いに迫るための発問に工夫があります。また、「自分にプラス1」には前向きに自分に生かすための発問例が提示されており、それらの学びの積み重ねを通し成長を実感し、自信や誇りを持つことにつながります。

学研教育みらいです。命の教育を重点テーマとし、いじめについて考える教材を取り入れています。複数時間の授業を関連させて異なる視点や内容項目から考えを深め、現代的な課題に迫っています。主題名を本文の前に提示せずに、他者と対話し、自己とのかかわりを問い直していくようになっています。対話や役割演技を通して自己肯定感や心の動きなどを考える特設ページもあります。主体的、対話的で深い学びを実現するために3種類の特設ページ、「深めよう」、「クローズアップ」、「クローズアッププラス」を設け、多様な学習指導を支えています。特に「クローズアッププラス」では、生命尊重といじめ防止につながるテーマとして、自己肯定感、あなたへの質問、2番目として怒りの感情との向き合い方、アンガーマネジメント、3番目としてメンタルトレーニングを取り入れています。主題名が書かれていないという特徴も問題意識を持たせることにつながります。「深めよう」には、役割演技を活用した体験的な学習や問題解決的な学習の道筋を示しています。「クローズアップ」は、考えを深めたり視野を広げることにも活用できます。

廣済堂あかつきです。いじめに関しても加害者、被害者、それぞれの立場で考える教材があります。別冊の道徳ノートに、本冊に合わせて内容項目の解説や振り返りがあり、教科書と相互に活用することで道徳的思考を深めることができます。「考える・話し合う」の問いに工夫があり、「考えを広げる・深める」には、問題解決的な学習を促す問いや役割演技や表現活動を促す問いを設けています。

日本教科書です。特設ページにおいて安全教育や情報教育、キャリア教育などに触れ、自分事として考えられる問いがあり、対話を通して考えを深める工夫があります。

3番の資料について、また4番の表記・表現については、こちらのほうの用紙に書いてある内容です。

5番の総括に参ります。5話の総括についてです。1番の東京書籍です。各教材に考えたことや感想を書きとめる「つぶやきコーナー」があるとともに、学期単位でその学期に学習したことを記入するページもあり、学期ごとに振り返りをして学習の充実を図る工夫があります。

学校図書です。各教材に自分の考えを書き込めるスペースがあるとともに、学期ごとに学習したことをまとめて書き込むページもあり、学期ごとに振り返りをして学習の充実を図る工夫があります。

教育出版です。学期ごとに印象に残った教材、そこから何を考え学んだかなどを書くページがあり、自分の学習を振り返ることで学習の充実を図る工夫があります。自己肯定感を高めることができる教材を積極的に掲載しています。

光村図書です。1時間ごとに感じたことや考えたことを書きとめる「私の気づき」コーナーがあります。

日本文教出版です。別冊ノートがあり、学習の記録ができます。また、その授業で学んだことを生活にどう生かすかを書く「自分にプラス1」もあります。学期末にそれまでの学習を振り返るページもあり、学習の充実を図る工夫があります。道徳ノートの活用により道徳科の学びを積み重ね、生徒がみずからの成長を実感し、自分の生き方に自信や誇りが持てるような配慮があります。

学研教育みらいです。巻頭に自分を見詰めるページ、巻末に自分の心の成長に気づいたら書きとめる「心の四季」のページがあり、1年間の自分の成長を感じ取れるような工夫があります。各学年で自己肯定感について取り上げ、人間関係の理解等深く考えるための工夫が見られます。

廣済堂あかつきです。別冊ノートがあり、学習を記録できるので、学習を振り返ることができます。各教材に「考える・話し合う」を設け、生徒の主体的、対話的で深い学びを促すような工夫が見られます。

日本教科書です。巻末に1年間を振り返って心の成長や授業への取り組み状況を4段階で自己評価したり、学んだことをどう生活に生かしていきたいかを書くページがあり、学習を振り返られるようになっています。自主的な発言や議論を促すよう工夫し、活発な意見交換が期待される構成になっています。

以上です。

住田委員長 ただいまご説明をいただいたわけでありますけれども、選定委員といたしまして、8社あるわけですが、どの教科書をご推薦したいかということをお聞きしたいのですけれども。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調

査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員15名全員が8種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、52点、11番、学校図書、50点、17番、教育出版、45点、38番、光村図書、56点、116番、日本文教出版、66点、224番、学研教育みらい、73点、232番、廣済堂あかつき、45点、233番、日本教科書、37点でございます。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、73点の学研教育みらい、66点の日本文教出版、56点の光村図書を推薦いたします。

以上でございます。

住田委員長 ただいまのご説明を受けての質疑を行いたいと思います。

各委員の質問につきまして、選定委員のご回答をお願いしたいと思います。

どなたかご質問ございますでしょうか。

堀川代理。

堀川委員長職務代理者 選定委員会で特に協議したことというのは、どういったことだったのでしょうか。

住田委員長 よろしく申し上げます。

母壁選定委員（光陽中校長） いろいろ協議いたしましたが、大きく分けると3つに分けられます。

1つ目は、道徳的価値やテーマ等を明記しているかないかについてです。教科書発行者の多くが明記されておりますが、明記していない発行者も数社ございます。生徒がより主体的に学ぶ上でどちらがよいのか。どちらにしても、学ぶ生徒たちが主体的に考えられる教科書がよいのではないかという意見でした。

2つ目は、道徳ノートのように別冊があることについてです。別冊ノートに関しては、内容が余りにも縛られ過ぎてしまっていたり、制限されたりするのはよくないのではないかと。教える側の工夫ができるようなある程度の自由度が必要ではないかという意見と、若い教師が増えている中、資料を通して考えを深めていけるような学びの道筋として、別冊ノートがあってもよいのではないかと。また、評価をする際に書き込めるものがあるとよいのではないかという意見も出ました。

3つ目は、現代的な課題についてです。いじめの問題や情報モラルの教育について、より身近な教材や情報モラルは変化が激しいので、新しい内容の資料が充実しているものが望ましいのではないかという意見でした。

以上でございます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 選定委員会で今年も1号委員として保護者の方が入っていますが、どのようなご意見が出ましたでしょうか。

住田委員長 お願いします。

母壁選定委員（光陽中校長） 幾つか出ましたが、その中でも、1つ目として、中学生になると話し合いが苦手な子もいるので、話ができるようなサポート、考えるヒントがあるような教科書でもいいのではないかと。苦手な子にはテーマが出ていてもよいのではないかとというような意見がありました。

2つ目として、道徳には正解がないので、やはりいろいろな意見が出てきて議論ができるとよいが、それは教師側の進め方が大事になるのではないかとという意見が出されています。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 この教科書は、実際使うのは学校ということになるわけですが、現場である学校の調査報告というのはなされていると思いますが、そちらのほうではどちらの教科書会社が一番推薦されていたのでしょうか。そして、またその理由というのはどんなことだったのか教えてください。

住田委員長 お願いします。

母壁選定委員（光陽中校長） 学校からの推薦では、日本文教出版と学研教育みらいがともに7票で一番多い推薦数でございます。

推薦理由としては、日本文教出版では別冊の道徳ノートに関する内容が多かったです。道徳ノートが独立しており、指導、評価に生かしやすいや、自分の振り返りをする欄があり、学んだことを振り返ることで、心の変化や成長を実感できるなどが挙げられています。

一方、学研教育みらいのほうでは、教員の工夫でさまざまな授業展開ができるや価値項目を記載していないことから、生徒自身で気づくことができるよう考慮されているなど、主題名を載せていないことのよさについての記載がありました。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

吉田教育長。

吉田教育長 これまで道徳の授業実践を通して、資料分析とかあるいは共通教材、手づくりの教材とかが積み重ねてきてあると思いますけれども、この点についてはどういう協議がありましたでしょうか。

住田委員長 はい、どうぞ。

母壁選定委員（光陽中校長） 教材、教具の共有化については継続的に行われています。

資料分析については、中学校の現場では小学校に比べると、やや時間についてとられていない部分があるのではないかという意見も出ました。その部分について十分に教材分析を積み重ね、子どもたちの出てきた意見をどのように生かしていくかといった財産を、これから共有化できるように、各校で重点的に取り組んでいかなければならないという意見が出ました。

以上です。

住田委員長 よろしいですか。

吉田教育長 もう一点よろしいですか。

5の総括のところで自己肯定感についての言及があったわけですが、この点についてももう少し具体的に説明をお願いしたいのですが。

住田委員長 どうぞ。

母壁選定委員（光陽中校長） 総括の5のところで自己肯定感という話題が出ているのが、教育出版と学研教育みらいだと思います。

教育出版については、3年間を通して自己肯定感を高めたり、自分の成長を実感できる教材を多く掲載しているというふうに申し上げましたが、生徒にとって身近な教材を学年に応じて変化をつけながら、3年間を通してシリーズで掲載しています。自分を好きになるあるいは自分に自信を持つことができる、そういうふうな用語も多く使われていて、そういう教材を積極的に掲載しています。

それから、学研教育みらいについては、対話や役割演技を通して自己肯定感や心の動きなどを考える特設ページを具体的に設けています。主体的、対話的で深い学びを実現させるために、3種類の特設ページ、先ほど申し上げましたが、深めようというところ、クローズアップ、それにもう一つクローズアッププラスという欄を設けて、多様な学習指導を支えています。特にクローズアッププラスというところでは、生命尊重といじめ防止につながるテーマとして3つ、自己肯定感、これはあなたへの質問という項目を入れています。それから、怒りの感情との向き合い方、アンガーマネジメント、またメンタルトレーニング、このことを入れながら進めているというのが学研教育みらいの特色になっておりました。

吉田教育長 自己肯定感という言葉が新しいというか耳なれていない部分もあるだろうから、平たく言えば自己を肯定的に捉える感覚というふうに考えてよろしいですか。

住田委員長 よろしいですか。

母壁選定委員（光陽中校長） そのように考えていいかなと思っております。

住田委員長 他にいかがでしょうか。

私も中身といいますか、1冊ずつ私のはかってみました、実際に重さを。本当に差があるのですけれども、一番重いのが、たしか学校図書です。2年生は550グラムあります。あるいはあかつきでは、やはり550グラムなのです。文教出版では470グラムと、そんなような、軽いほうでも

教育出版で320グラムとか、そういうようなことなのですけれども、ご推薦いただいた3つの会社、学研であるとかあるいは光村であるとか文教出版、これは余り大きな差はなかったですけれども、とにかくこれを今までの中のかばんに入れて持ち帰る。生徒にとっては大変なことかなと。そうかといって、1週間に1遍、置き勉強が許されるかどうか知りませんが、書き込みのあるようなものはむしろ採択されない。例えば人に見られるとかあるいはなくなるとか、そういう点でやはり置き勉強はできないのかなとか、そういうふうに私は考えてしまったのですけれども、そういう話題というのはあったのでしょうか。

お願いします。

母壁選定委員（光陽中校長） 現実にも全ての中学校でそのようにやっているかどうかは確認はしていないのですが、私が今まで勤めてきた学校では、道徳の教科書は、道徳の副読本ですが、全て学校に置いていくと。クラスでまとめていて、ある棚の中に保存しておく。学級ごとに保存しておく形をとりました。実際に今回は別冊ノートを設定している会社が2社ありますが、それはノートは薄いものですから、持ち帰ることは可能だと思います。また、実際にこの別冊ノートがないものについては、こちらのほうで資料等を、各それぞれの道徳の一つのお話に対してプリント等で書き込めるものをつくりますので、それをそのまま教室に保管するのではなくて、それはまた別な場所で保管するという形をとりますので、置きっ放しという形にはならないかなと思います。

また、今新しい教科書の中には、書き込める部分が幾つかありますけれども、それも全体的な最後のまとめとかいうところですので、お互いにのぞくとか、日常的なものではないので、またその辺についても配慮しなければいけない問題であると思いますが、今のところはその話題は出てこなかったです。

以上です。

住田委員長 それから、道徳は例えば理科だとかあるいは国語だとかと違いまして、専門の教員がいるといいますか、免許証があるというようなことでなくて、結局担当は担任がするということになるわけですか。

母壁選定委員（光陽中校長） はい。

住田委員長 そうすると、若い教員であるあるいは中高年の教員であるとか、あるいはそれぞれいろんな人生経験を持った方が入ってくるというようなことがあるかもしれないですけれども、そういうこともあった中での考える道徳あるいは議論する道徳であるというようなことでよろしいのでしょうか。

母壁選定委員（光陽中校長） はい。

住田委員長 余り方向性といいますか、そういうことを考えると非常に難しい話になると思いますけれども、いかがですか。

選定委員の方のお話のほうはよろしいですか。

協議のほうに入ってよろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、協議のほうに移らせていただきます。

選定資料にある5つの調査の観点に沿って協議を進めたいと思います。

協議の1番目ですけれども、学習指導要領の教科の目標、よりよく生きるための基礎となる道徳教育を養うということとのかかわりについて、まずそういうことについてのご意見ございますでしょうか。

堀川代理。

堀川委員長職務代理者 まず、導入部分については、どの発行者さんも子どもたちが身構えずに前向き、意欲的、関心を持って取り組むような工夫がされていると思いました。教材ごと主題やテーマ、狙いの提示の仕方ということで、内容について4つの視点について色分けをしたりマークを使ったり、またアニメの主人公の言葉を使ったりなどの工夫も見られました。50分という授業時間の中で狙いやテーマが明示されているということは、スムーズに授業展開しやすいのかなとも思いますけれども、先ほどの説明にもございましたとおり、学研などでは価値項目の主題の記載がなく、事前に考え方を誘導されたりすることがなく、子どもたちが主体的に考えたりできるのではないかというふうに思いました。

あと、道徳的価値についての理解を深めさせる工夫についてですが、自分と違う立場の考え方、感じ方を尊重できる、理解できる工夫、複数の道徳的価値の対立が生じた場合にとり得る行動を、多面的、多角的に考えさせる工夫、こういったものがあるかなというふうに拝見させていただきました。東書さんでは、議論する教材を多く掲載しているのではなかったかなと思いますし、心情円を使って自分の考えを可視化するというのもおもしろいかなというふうに感じました。

あと、日文さんの教材の終わりにある考えてみよう、自分にプラスワン、これについては考えを深く発展しやすいかなと思いましたし、3項目め、プラットフォームでは多角的、多面的な学習ができるのではないかというふうに感じました。

3点目です。振り返りや学習の記録欄についてですけれども、学図さんの各教材の最後の振り返りの記録欄を設けておまして、学期ごとと1年間の振り返りと、これからの自分について書きとめられるようになっております。光村さんでは学びのテーマ、1時間ごとに書きとめていくという形でございました。学研さんでは、クローズアップ、先ほどの説明と重複するところも多々ありますけれども、クローズアップや深めように書き込み欄を設けて、巻末に心の四季として心の成長を書きとめるページを設けておりました。

以上でございます。

住田委員長 他にはいかがですか。

どうぞ、教育長。

吉田教育長 大事なところだと思いますので、堀川委員さんのご指摘や今の選定委員の説明あるいは選定委員に質問したことの答え等についてとダブるところがあるかと思うのですけれども、道德の授業ではいわゆる登場人物の心情や判断等、場面発問というのですけれども、あるいは教材のテーマ、これは道德課程にかかわらずなのですが、そのものにかかわって掘り下げる、テーマ発問といいますけれども、これによって主題を追求していく授業が行われることが多くあるわけですが、そういう点で確認をしたいと思っておりますけれども、せっかく道德の教科書並んでいますので。

例えば東京書籍ですと、23ページをあけていただくと、最後のほう、考えてみよう、①、自分とのつき合い方を考えると人生が楽になるのはどうしてだろう。これは場面発問に近いのだと思うのですけれども、②はどちらかというとテーマ発問に近い内容を持っているのですけれども、さらに20ページに戻ると、タイトルのところに自分とのつき合い方を考えよう、これはテーマそのものかなというふうに考えておりますが、そういった記述があります。

一方、学校図書のほうでは、同じように24ページのところを見ていただくと、24ページの左の端に学びに向かうためにというので、考えよう、見詰めようで3つから4つの問いかけがあります。

教育出版ですけれども、これについては26ページに学びの道しるべというふうにあります。これは1、2については場面発問、3については思いやりと、道德的価値に迫るものですから、テーマ発問と、こういうふうに考えれば3つから4つの問いかけ等があります。

次に、光村図書ですけれども、光村図書は26ページに学びのテーマということが書かれていて、これは道德的価値にかかわるというので、テーマのところに一番上に命の尊さについて考えるところ、これはまさに道德的価値にかかわるいわゆるテーマについて書かれている。その下に考えてみよう、考える観点というところでは、4つから5つの問いかけがある。

日文ですけれども、日文の同じく22ページを見ると、ここに自分にプラスワン、考えてみようというようなところで、プラスワンについてはどちらかというとテーマ発問に近いほうですか。考えてみようは場面発問。さらに、14ページに行くと、挫折から希望へとタイトルの名前が書いてあるのですが、その上に弱さを乗り越え生きると、これはテーマにかかわる。こういうものが書かれている。

一方、学研のほうは、同じ22ページぐらいですか。22ページのところを見ると旗の印が書いてありますよね。これについては、1つ、それぞれの発問について考え、挨拶の意義についてまとめてみよう。これは場面発問ですかね。20ページのタイトルがありますけれども、これも挨拶しますか、しませんかというタイトルそのものになるみたいです。

日本教育出版のほうですが、25ページの考え、話し合ってみよう。そして深めよう。これも場

面発問とテーマ発問に近いものが書かれているかと思います。これも2つぐらいですか。

それから、あかつきのほうですけれども、23ページを見てみると、考える、話し合うということで、学習の手がかりと考え、広げる、深めるというのがあります。これも3から4の問いかけがあります。

こういうふうに数に違いがあったりするのですけれども、しかしさっきから話題になっているのは、道徳では道徳的な課題を自分自身の問題として捉え、そして向き合うよう指導し、学習者が共感的に理解したり葛藤したり議論したりする中で、例えば思いやりであるとか、友情であるとかといった道徳的価値に気づき、そして完成する。心を耕して自分の生き方について考えを深める学習、こういうことを通して道徳的な判断力とか心情とか実践の態度、これを育むことを目的としておりますので、あらかじめ教科書にその方向性が書かれていると、その教科書が求めているものに心を寄せてしまって、いわゆる葛藤し消化する場面、これが一番大事なんでしょうけれども、この辺が薄れ、深まらないということが懸念される。この辺は、だからそういう発問例とか、テーマは何だとかというようなことがはっきりしているとわかりやすいのです。わかりやすい反面、今言ったような懸念が生じると。この辺も切り返しの発問ができれば、何とか深まっていくのだろうなど。この点を考慮する必要があるというようなことが、先ほど来話題に出ていたというふうに思っております。

以上です。

住田委員長 他にはいかがですか。

次のところに進んでよろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、協議の2番目です。現代的な課題。

現代的な課題というのはたくさんあるのですけれども、いじめであったりあるいは情報モラルであったり、あるいは防災であったり、こんなことがあるのですけれども、その現代的な課題について、この観点あるいは内容についてご意見ありますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 さすがに現代的課題というと、今委員長からおっしゃったようにいじめであったりとか情報モラルであったりとか、災害であるとか天災のことということになると思いますが、一番どこでも大きく取り上げてあるのがいじめ問題であったと思いました。例えば東書さんであれば、いじめであるとか生命尊重について、各学年3時間扱いの複数教材を組み合わせたり、リピート構成をとることによって、非常に多角的に課題が見えるように工夫されていました。

また、情報モラルに関しましては、東書さんに関しましては、SNSを題材にした教材を全学年に掲載されているということが、非常に特徴的かなというふうに感じました。

次に、学図さんですけれども、やはりこちらはいじめ問題については直接問題点に迫る教材と、

日常のあり方について注目する間接教材の2種類で構成されており、さまざまな角度から考えたり議論したりする場面が設定されていると思いました。

情報モラルに関しましては、各学年に関しまして自主自立、自由と責任等の内容項目に絡め扱っていき、情報モラルというマーク表示があって、この教材は情報モラルについて扱っているというような確認ができるようになっていました。

次に、教育出版ですけれども、いじめを直接的に扱った教材、いじめを許さないという心の育成を狙いとし、間接的な教材が準備されており、やはりこちらもいろんな面から議論、検討あるいは考える機会が設けられていると考えました。また、3年間通じてシリーズで掲載されていて、繰り返し考えを深める工夫をされていると感じました。また、いろいろな現代的な課題にかかわる教材を積極的に取り上げられているなというふうな印象を受けました。

次に、光村図書ですけれども、いじめ問題と情報モラルについては、教材とあわせてコラムという欄が復元されておりまして、そこで関連づけていろいろと活用ができると感じました。

日文さんに関しましては、いじめに関しましては教材とコラムとプラットフォームという名目でしたけれども、これを組み合わせることはいじめ防止の内容を集中的に扱って、確実な定着を図る工夫がされていると思いました。特にいじめを受けやすい時期を捉えているというふうに感じました。

情報モラルに関しましては、一つの独立したテーマとして取り上げていて、質のよい情報活用能力の育成に向け、自立心育成などの内容を取り上げていると感じました。

学研さんですけれども、やはり冒頭に表示はされないものの、生命尊重といじめ防止を重点テーマにしていて、間接教材、直接教材の2種類が準備されておりました。

情報モラルに関しましては、マーク表示が目次に記されておりまして、情報の扱い方、情報を扱う際の配慮などが各学年によって工夫されておりました。

あかつきさんに関しましては、いじめについていじめの構造が示されており、生徒は加害者や被害者、それぞれの立場でいじめについて考える教材があり、さまざまな角度から研究する時間が設けられていました。現代的な課題を発達段階に応じて追求させるという、深く考えられるような特集ページになっていました。

情報モラルに関しましては、情報機器であるとか情報社会といったテーマでの直接的な項目は設けられていました。

日本教科書さんに関しましては、学研同様に冒頭にテーマを明示されていないという特徴がありましたけれども、いじめ防止の関係として生命を尊ぶタイトルは不可欠として、生命尊重への学びを深める教材を、各学年において複数掲載されておりました。

情報モラルに関しましては、特段マークで表示するであるとか、項目が設けられているわけはありませんけれども、各教材にこれを盛り込まれて、知る機会が設けられていると思いました。

また、防災であるとか災害に対しましての話題も、各教科書に関して多数載せたり、昨今のことを考えると、これは大変重要なことであると感じました。

次に、生徒さんへの教材の情報提示についてということに関してですが、どちらの教科書も多彩な教材を使っているというところでは共通していると思います。特にあとは気づいたところとしましては、東書さんに関しましては、タイトルの下に漫画家さんによる挿絵が入っている。あるいは本文中に写真であるとか挿絵であるとか、漫画形式の資料が対応されていて、ナビゲーターとしてのキャラクターもおもしろいなと思いました。また、デジタル教材などというのも非常に興味を引く。今どきの子どもですから、デジタル教材というのは、割と食いつきがいいのではないかなと思いました。

次に、学図さんですけれども、やはり多彩な教材、例えば漫画であるとか新聞であるとか、さまざまな媒体を用いた教材が多数使用されていて、こちらもいろいろと興味を引くのではないかなと思いました。こちらもありデジタル教材があるというのはおもしろいかなと思いました。

次に、教育出版さんですが、やはり多彩な教材が準備されており、また特にこの中では1年生、2年生、3年生を通じてけやき中という学校が登場していて、その中でシリーズ化されて物語が展開されているというのがおもしろいなというふうに感じました。

次に、光村さんですけれども、やはり多彩な教材が準備されているということは他社と同じですけれども、学校行事と関連させて指導できる教材があるということがメインでありました。

次に、日文ですけれども、やはりこちらも多彩な教材が準備されており、こちらに関しましては教科書のタイトルからもわかることですが、学年ごとにテーマが設定されているということが特に目を引きました。こちらに関しましては、デジタル教材があるということも特徴として感じました。

学研ですけれども、こちらも他社同様多彩な教材、それから写真であるとか挿絵であるとか漫画であるとかの非常に目を引く、興味を引くという工夫がされていると思いました。また、こちらでもデジタル教材が準備されているということなので、生徒さんの興味も引くものではないかなと思いました。

あかつきさんに関しましても、やはり同様です。

日本教科書さんに関しましては、他社と一線を画しているなと思ったのは、他社に関しましては漫画であるとかイラストチックなものが非常に多かったのですが、漫画的なものは非常に少ないなと。昔風の教科書というふうな印象は受けました。ただ、3年間同一主人公が登場するシリーズ教材があり、こちらは継続的な興味を引くのではないかなと思いました。

以上です。

住田委員長 他の方、いかがでしょうか。

とにかくここは現代的な課題といいますか、今日的なテーマの割合でいったら、一番多いのが

あかつきなのです。題材の中での扱い方が非常に多い。他は余り大きな差はないのですけれども、そんなふうに私は思っています。

他にはいかがですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次に協議の3のほうに進めてよろしいですか。

今度は考え、議論する道徳についてなのですから、何か内容に関してありますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 これまでの読む道徳から、考え、議論する道徳へということで、考え、議論する道徳を通して道徳性を育成する工夫についてですけれども、特に問いや投げかけも提示の内容に注目して各教科書を見せていただきました。やはり生徒の実態に合わせることが大事だと思っています。学研さんは、各教材について1つの問いしかないですが、話の登場人物の心情を捉えることだけに終始しない。生徒が自分のこととして考える工夫であると感じ、印象に残りました。

住田委員長 他の方はいかがでしょうか。

どうぞ、教育長。

吉田教育長 今の荒木委員さんのお話で、考え、議論する道徳、資料どおりの道徳ではなくて、深めていこうと、道徳的価値について。そういった観点で新しい学習指導要領では、議論する道徳についてというようなことが出てきたのですけれども、そういう意味で言うと、バランスよくそういうものが配置されているかどうかというところを考えていけばいいのかなと思っています。少し資料多目だなというふうな教科書もありますけれども、バランスよく配置されているかなというところを見ていってもらおうというふうに思っています。

住田委員長 他はいかがですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 次に移ってよろしいですか。

協議の4番目ですが、調査の観点のことなのですが、資料及び調査の観点4の表記・表現、それについてですけれども、調査の観点の3の資料及び調査、ご意見はございますでしょうか。

どうぞ、荒木委員。

荒木委員 資料及び表記・表現の観点では、各教科書さんともそれぞれに工夫が見られますが、東書さんなどは先ほど進藤先生もおっしゃっていましたが、デジタル資料への対応も見られます。あと、分冊か1冊かということについてなのですから、それについては難しいですが、とにかく学習の流れがわかるのはいいけれども、学習の方向が決まってしまうものは適切でないと思います。

それから、調査の観点3、4についてではないのですけれども、道徳の授業後に家庭で生徒が話題にするということがなされるとよいと思っております。

以上です。

住田委員長 他にはいかがですか。

どうぞ、教育長。

吉田教育長 重たいから学校に残していったらどうかという話もありましたけれども、今荒木委員さんのおっしゃったように、やはり家庭でも読んでもらいたいなど。読んでいてそういう資料あったのではないかなと思うのですが、どれを持ってどれを残すかというようなことは、学校に任せてもいいのかなというような気がしています。今言った視点は大事なのかなと。

住田委員長 私も発言させてもらいますけれども、これ、私どもに随分前から配られていまして、全部読ませていただきました。本当に涙が出るくらいに感激するぐらいの文があったのですけれども、これを親に読ませたいというのが、私は正直なところです。ですから、重いのですけれども、やはり持ち帰ってもらいたいというのが私の気持ちです。

他にはいかがですか。

吉田教育長 それとの関連ですけれども、道德教育は今さらということでもないですけれども、道德性の育成を目標として行われるものですが、授業だけではなくて、道德の時間を核として、いわゆる学校教育全体を通して進めていくことが求められています。その際、意識を継続化していくということが大事になるというふうに思うのです。そのためには、いわゆる核となる道德の授業での主体的、対話的な学びの実践、これが必要不可欠ということになるわけですが、したがって委員長さんおっしゃったように心を揺さぶるような、涙を思わず浮かべてしまいそうな、そういう資料そのもののよさや、やはり読み込むというのですか、資料分析の蓄積が大事になってきているというふうに思います。

ちなみに、現在副読本で使っているのは学研ですので、当然のことなのですが、現在道德の時間で使っている資料と共通のものについては、学研が最も多くなっている。中学校では余り教材、資料分析が進んでいないというようなことがありましたけれども、使っているわけです。その次に重いのはあかつき、その他については二、三の違いはありますが、ほぼ同じように、こういう状況かなというふうに思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、総括のほうに入らせていただこうかと思います。

全体を見て、皆さんのご忌憚のないご意見をいただければと思っているのですけれども、いかがでしょうか。

どうぞ、教育長。

吉田教育長 冒頭の説明であった自己肯定感については、皆さんご存じだと思いますけれども、国際的な調査結果などから、日本は社会的なかわりの中で自己を肯定的に捉えるために、地域社

会等に自分は役立っていると思っていますかみたいな発問に対しては、割と低いということもあってか、教育再生実行会議の提言なんかにも取り上げられているわけですが、道徳的な価値のかかわりから見れば、本市の場合、小中一貫教育もその狙いの一つに自己肯定感の高揚について挙げているわけですが、道徳教育の一環であるというふうにも考えることもできるというふうに思います。

したがって、自己肯定感については道徳で取り上げ、道徳の授業を核として学校教育全体を通して進めていくということは、高揚を図るということは、極めて効果的であるというふうに私は思っています。

住田委員長 いかがですか、他には。

私は、これを読ませていただきまして、本当に各社とも非常に力作というのですか、大変なご苦勞をなさってつくっている。そして、それをまた読み込んでまとめてくださった選定委員の先生方、本当に大変だと思って、私も読ませていただきましたが、本当に感激するような、たくさんの方でそれを最後得点化して、これはやむを得ないことなのですが、そうするとかなり大きな差も出てきました。そうすると、例えば日本教科書、37点というかなり厳しい。最高の学研が73点、こういうような得点です。

例えば日本教科書、これの中で私はこういうもの、特に越谷といいますか、埼玉県人としていろんなニュースの中で、これはたしか平成25年で南浦和で京浜東北線の朝のラッシュの時間、女の方がホームと電車の間に挟まれた。これはページで言うと96ページ、乗客はおりてみんなでもってこれを押して助けた。こういうまず大変な事件があったのですが、平気でみんながそういうことをやるのです。やはり埼玉県人として、たくさん乗っていたのだろうけれども、そういうような非常に感激をした文がある。

また、これは2年生で、やはり日本教科書なのですが、割れ窓理論というのが出てまして、2年生の84ページです。これを見て、なるほどなと思って読ませていただきました。そして、やはり地元のことを一番扱ったのが、実は学研なのです。教科書の中で一番多く扱ったと思うのが、埼玉県との、やはりこれは自己肯定感とか、それからまさに弱者に対する思いとか、いろいろと言うと学研の1年生の教科書の60ページを見ていただければわかるのですが、全盲の中学校の教員が載っています。これは埼玉県の皆野町の出来事なのです。これも埼玉県人として誇りに思うといいますか、やはりこれは大変なテーマだったのだと思います。

それから、これは少し残念だったのは、同じ1年生で81ページを見てください。これは神宮の森ですね。これはまさに今でも植物学とか、そういう生態学をやられる方は非常に大事にしている場所なのですが、100年後を考えながらつくった。神宮の森を計画したのは本多静六です。菖蒲町の出身なのです。ただ、そこには名前が載ってこないのです。非常に有名な方です。いろんなところを植林やったり、いろんなことを考えられた方です。

あとは、それこそ126ページで同じ1年生ですけれども、埼玉県寄居町のこれは男衾中学校の陸上部の話が出ていたり、それから2年生の教科書では、これはいいなと思ったのが、最近非常にサッカーというのが世の中で盛んになっておりますけれども、浦和レッズの話。長谷部選手の例のまさにワールドカップのときの活躍された長谷部選手の話が載っています。これがまさに自己肯定感の話なので、そこへ結びついて、たしかその後は松井秀喜の話が出たりとかいろいろしたかと思います。大変埼玉県とのかかわりみたいのが、非常にそこは多かったなと。あと他の会社も非常に力作が多かった。

おもしろいテーマを上げたのは、例えば東京書籍では各学年に心情円が採用されている。これでもって気持ちがブルーなのか、そういうようなことを表すような、一番最後のところですけども、付録についています。なるほどいい工夫したものが載っていると思ったのですけれども。

同じように心の静め方とか、そういうのを扱っている会社もありました。それから、東京書籍では3年生の151ページには子どもの権利条約、そういうものが、とうとうそういうところの時代が来ているのだな、そんなふうに思いました。

それから、学校図書では、他のところでもいろいろな生徒、いわゆるセックスの話ですけれども、扱ったところがあるのですけれども、学校図書の2年生の172ページでLGBTというようなことが載っておりました。セクシュアリティの3要素とか、そういうようなのを取り上げていたりとか、そしておもしろかったのが学校図書では、3年生で180ページに5万回切られた。要するに裏方をずっとやられた福本清三という方のことが載っています。

それから、192ページで納棺師の話です。これはおもしろいのを取り上げたなというふうに私は読ませていただきました。

あと、教育出版では3年生で死刑制度を考えると。これは中学生にはかなり衝撃的かなというようなこと。これは88ページかな。3年生でありました。それから、教育出版ではこういう取り上げ方もあるのだなと。1年生では桂米朝さんの落語のこういうものを上げてきています。152ページです。

それから、光村ではコラム欄が非常に私は気に入りました。1年生で言うとユニバーサルデザインの7原則だとか、それから64ページははじめが生まれるときとか、86ページはネットの書き込みを巡っての相談窓口の電話番号まで一覧で載っていた。これは非常に便利だなと思っていましたし、2年生でははじめといじりの違いだとか、そういうようなことが68ページに書いてある。それから、3年生では100ページに、学年といいますか、年齢が進むに従って法律上のかかわりが変わるといようなものが取り上げられています。

ただ、難しいなと思ったのが、光村の中で2年生の中で性善説と性悪説、これを取り上げています。2年生の173ページで孟子と荀子、これをなるほどなど。中学生の3年生ですから、これはいいのかと思いながら、教える先生もその授業は大変かなという気もしましたし、3年生の13ペ

ージで、これは教える先生がかなり勉強しないといけないなと思ったのは、魯迅の作品が出てくるのです。これは要するに戦前の中国の話で、先生がそこまで勉強してからかからないと、かなり大変だろうなという気はしました。

文教出版で言いますと、ここは私もプラットフォームの欄が非常によくできているなという気がいたしました。1年生では、例えば35ページにいじめの構図、なるほどこういうふうな構図、よくまとめてあるなというふうに。それから、43ページでは私も利用したいなと思ったのですけれども、怒りの感情の静め方、そういうようなものが出ていたり、あと心のチェック、87ページですとか、それがみんなプラットフォームという欄です。あと2年生にも出ています。

3年生では、同じ中でも49ページにはいじめと向き合う。なぜ人を攻撃するのかということで図式になっています。これは私自身も参考になりました。非常にいいテーマを上げてくれているなと思いました。

それから、学研は先ほど言った主題表示をしていないという特徴があるというようなことで、みんなあかつきのほうでは現代的な課題がさっき言ったように他社より多いのですけれども、マータイさんを上げてくれた。1年生ではグリーンベルト運動を取り上げています。それから、3年生ではマンデラという南アフリカでの出来事、アパルトヘイトのことでかかわった方ですけれども、そういうようなものを上げてくれたりとか、随分読ませていただきました。どこの会社のものも非常に立派にできていると思います。ですから、点数をつけるとどうしてもこういう差が出てしまうのですけれども、私は推薦してくださったこの3つの会社ばかりでなく、どこの会社もちゃんと見ていいのかなという気はいたしました。余りこういうものにとらわれなくて、そして欲を言えば、ご父兄の方にも読んでいただきたいというのが私の結論でした。

他には何か感じたことございますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、これより採択のほうに入りたいと思います。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、冒頭に申し上げましたけれども、採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものにしたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 投票箱の用意をお願いいたします。投票箱の中をご確認いただきたいと思います。

〔投票箱点検〕

住田委員長 それでは、投票をお願いしますので、点呼をお願いします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票は終了いたしました。投票漏れはございませんでしょうか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりましては、立会人として、堀川委員、それから進藤委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

住田委員長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

2 番	東京書籍	1 9 票
1 1 番	学校図書	1 7 票
1 7 番	教育出版	1 7 票
3 8 番	光村図書	2 0 票
1 1 6 番	日本文教出版	2 0 票
2 2 4 番	学研教育みらい	2 5 票
2 3 2 番	廣済堂あかつき	1 6 票
2 3 3 番	日本教科書	1 4 票

ということで、一番多いのが学研の25票で、学研を採択いたします。

◎休憩の宣告

住田委員長 それでは、午前中の審議はここまでといたします。

休憩の後、午後1時から審議を再開いたしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

休憩 午前 1 1 時 4 4 分

再開 午後 1 時 0 0 分

◎開議の宣告

住田委員長 それでは、時間になりましたので、これより教育委員会会議を再開いたします。

特別支援教育に係る教科用図書について、選定委員より選定資料の説明及び推薦する図書の報告を求めたいと思います。

それでは、説明のほうをお願いいたします。

齋藤選定委員（増林小校長） それでは、特別支援教育に係る教科書についてご説明をさせていただきます。

まず、特別支援学級は学校教育法第81条により、障がいによる学習上または生活上の困難を克服するための教育を行うものとして規定されております。指導内容は、該当の小学校及び中学校に準ずるものとされており、教科の構成や教科書も通常の学級に準じて利用されております。しかし、知的特別支援学級や自閉症、情緒障害特別支援学級で該当の学年と同様な教育課程を行う

ことが困難な児童が多いため、知的障害特別支援学校の学習指導要領を参考にして教育課程を編成することが認められております。

市内の特別支援学級の実情としては、算数や国語といった教科の学習とともに、生活単元学習や日常生活の指導などの知的障害特別支援学校の学習指導要領に規定されている枠組みで指導されることが多くあります。したがって、文部科学省が編集しております知的障害特別支援学校用の国語、算数、音楽の教科書を活用することは、特別支援学級において妥当だと考えております。

そこで、本日特別支援学級用の教科書として選定について検討していただくのは、知的障害特別支援学校小学校部用教科書、国語、算数、音楽の3つの教科書でございます。それぞれ難易度の段階として、星1つ、星2つ、星3つの3種類が小学校部段階の各教科の編集されております。

それでは、各教科の教科書について説明してまいります。初めに、国語の教科書ですが、内容を読み取ったり言語化したりすることにより、伝え合う力を育むように基本的には工夫されております。特に特別支援学級児童の発達段階から考えますと、星2つあるいは星3つの段階の教科書を使うことが多いと思われます。特別な支援が必要な児童のコミュニケーション能力を高めるには、使いやすい構成で特別支援学級児童の標準的な発達段階に適合した内容になっております。単語の理解から動作を表す言葉と絵、つまり動詞の理解において挨拶や日常行われている生活上の行動などが絵とともに示されている段階のものから、買い物や手紙など身近な題材を取り上げ、人とのやりとりやコミュニケーションを経験するように工夫されております。星2つ、星3つなど習熟度に従って、簡単な物語や説明文など文章の理解やその文章をそしゃくし、動作化したりするステップアップが図られております。

特別支援学級に就学または在籍する児童は、抽象的な思考が困難なことが多く、生活に根差した具体的な教材を活用して生きる力としての言語活動を指導する必要があります。この国語の教科書は、その目的を達成するには、内容、表現、構成においてよい教科書だと考えております。

次に、算数の教科書について説明いたします。算数も星1つの段階の絵本のようなものから、厚紙のカードや透明シートなど視覚的に把握したり操作をしたりして、数や図形などを認識するのに適した絵や教材が配置されており、初期の発達段階の子どもから小学校中学年程度の知的レベルを有する子どもまで、段階的に使える教科書としてとても効果的ではないかと考えております。星2つは、数概念の基礎や量や大きさ、形など算数の基礎概念を形成する段階の内容から、お金の使い方など生活場面で使えるものが具体的に示されております。そして、順次お金、重さ、長さなど項目ごとに内容が焦点化されているという意味で使いやすいと考えております。

特別支援学校の児童生徒対象の教科書ですが、小学校1年生から6年生まで在籍する小学校特別支援学級では、年齢差や発達段階の差が極めて大きいため、算数における概念形成から生活に結びつける内容は、効果的な教科書だと考えます。

最後に、音楽の教科書について説明いたします。教科書のつくりとしては、言葉とゼスチャーの絵が合致し、視覚的にわかりやすい。また、すぐに子どもたちが取り組めるように、歌い出せるあるいは音楽を聞きながら絵を追いかけられる構成になっております。また、季節感がある構成にもなっており、このページはこの季節だから、この歌が合うよということも自然も覚えられるようになっております。

星1つ、星2つ、星3つとも歌と動きがあわせて載っているので、使いやすい構成になっております。また、動揺やポピュラーになっている日本の歌なども多く掲載されており、昔から伝わる日本の音楽も学べるようになっております。また、「トトロ」や「魔女の宅急便」など、最近のテレビや映画などで子どもたちになじみの深い曲も取り上げられており、教材としてバラエティー豊かな構成となっております。さらに、星3つの教科書に絵は音楽の基礎として、抽象的な楽譜というようなものに移行する手前のところとして、ここで休むとかここで打つなどのタイミングが図で示され、通常の音楽の教科書よりもさらにわかりやすい工夫があります。

以上、特別支援学校用の国語、算数、音楽の教科書について説明させていただきました。

特別支援教育につきましては、複数の教科書会社から選ぶということではなく、文部科学省著作教科書について採択するかしないかということになりますが、特別支援学級において児童の実態、保護者の要望、学校での必要性に応じて教科書の選択の幅を広げ、より児童の教育的効果が上がるように特別支援学校用の教科書を推薦したいと思います。よろしくお願いいたします。

住田委員長 どうもありがとうございました。

それでは、ご説明に対しまして、皆さん何かご質問等ございますでしょうか。

よろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、ただいまの報告についてお聞きしますが、文部科学省著作の特別支援学校小学校用の教科用図書の採択については、どのような意向があるかということで、妥当だというふうに、そういうふうに解釈してよろしいでしょうか。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、選定委員会での協議内容について報告させていただきますけれども、選定委員会では、調査報告書、法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行いました。協議終了後、選定委員15名全員が教育委員会に推薦するかしないかについて記載し、無記名で投票を行いました。その結果、15名全員一致で推薦することに賛成となりました。

したがって、文部科学省が編集しております知的障害特別支援学校用の国語、算数、音楽の教科書を活用することについては、特別支援学級においても妥当だと思われます。

以上でございます。

住田委員長 その他いかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 今現在、越谷市内の小学校で、こちらの文部科学省著作の小学部用教科用図書を使用しているところはございますでしょうか。

齋藤選定委員（増林小校長） 今年度使用している小学校は、現在のところございません。

中学校では、特別支援学級が7校設置されているのですが、5校のほうで星4つのレベルのものを利用している段階であります。小学校では使用していない現状でございますが、通常で使用する一般の普通の教科書の他に、なかなかそれでは指導が難しいと。お子さんのために選択肢の一つとして、文部科学省著作の教科書を選ぶことができるようにしてあげることが重要だと考えております。

以上でございます。

住田委員長 それで、私のほうからお聞きしたいのですけれども、では教科書を使わねばならないというのですか、そういうような決まりといったようなことというのはあるのでしょうか。

齋藤選定委員（増林小校長） 特別支援学級、特に特別支援学校に準じて指導を行うということは可能ですので、特別支援学校においては、その子に応じた指導をするということが重要となってきますので、あくまでもその学年に応じた教科書に準じてということではなく、もしくは教科書よりも手前の段階、幼稚園段階の内容もありますので、必ず特別支援学校、特別支援学級においては教科書を使わなければならないということでございます。ただ、教科書は平等性もありますので、全員に配布されるということになります。

住田委員長 わかりました。

他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 文部科学省著作の教科用図書は、全般的に見て、特別支援学校の児童さんが使用するに当たり、どのような配慮がなされていますか。

齋藤選定委員（増林小校長） 通常の教科書よりも基本的には絵が大きかったりとか、図が見やすかったりとか、まず視覚的にぱっと子どもたちに入りやすい内容になっていまして、そこでなかなか言葉では情報がつかみづらいお子さんたちにとっては、教科書の中身の情報がよくわかるような工夫になっております。

また、1ページ、2ページ見開きのところでたくさんの情報量があると、子どもたちは混乱してしまいますので、焦点化が図れるように、余り1ページの中にたくさんの情報は入らないような工夫がなされております。

以上です。

住田委員長 他には何かございますか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、他になければ、国語の教科用図書に関する質問のほうに入らせていただこうかと思いますが、いかがでしょうか、何か。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 越谷市では小中一貫教育を推進しておりますが、小中での学校間、学年間の系統を意識した授業づくりが行われていると聞いております。国語の教材の配列はどのようなになっているのでしょうか。

齋藤選定委員（増林小校長） 基本的に教科書は、どうしても1つの流れで各学年がつくられております。発達レベルから言うと、単語から文章というふうな形、あるいは同じ文章の中でも説明的なものから文学的な物語になったりとしておりますが、さまざまな年齢やあるいは発達段階の子どもがいるということで、これを頭からずっと使っていくということよりも、教師がこの単元、この題材でここを使いましょうというふうなことで選びながら、行ったり戻ったりしながら使うというような構成になっております。特に特別支援学級におきましては、一度わかったなと思ったものであっても、結構定着するのに時間がかかりますので、進んでみてまた戻ったりということとで教科書のほうは活用しております。

住田委員長 他にはよろしいでしょうか、国語。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、算数の教科用図書に関するご質問はいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 算数に関しましては、生きる力をつけるために学んでいったことというものが、生活に生かされることが非常に大切だと思いますけれども、実際そのような内容になっている教科書ですか。また、どのような工夫が具体的になされているのでしょうか、この点教えてください。

齋藤選定委員（増林小校長） まず、算数につきましては、数を数えるということが基本になるかと思うのですが、最初は動物であったり、花であったり、果物であったりというふうな具体的なものを数えて、数字に置きかえていくということを行ったりします。あるいはイチゴやリンゴのような具体物を加えたり、合わせたりとか抜いたり引いたりしながら、足し算や引き算の練習ができるような構成になっております。

さらに、それがもう少し長さを比べたり、どっちが長かったり短かったり、どっちが大きい、小さいというような言葉の概念と数量的、それを数字で認知していくという概念を結びつけるような、そういった教科書のほうは構成になっております。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、続きまして音楽の教科用図書に関してなのですが、ご質問ございますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 童謡とか唱歌、叙情歌などの日本の音楽についての取り扱いを教えてくださいませんか。

齋藤選定委員（増林小校長） 特別支援学級用の教科書は、通常学級の教科書と比べて、やはりわらべ歌の「かくれんぼ」であったり、「だるまさんだるまさん」であったり、「なべなべそこぬけ」みたいないわゆる歌遊びのようなものが入っております。また、「ほたるこい」だとか、「花火」だとか、「海」だとかというような割と昔から使われている小学校唱歌であったり、小学校で我々の年代の者が習ったような歌も結構入っております。また、先ほども説明をしましたが、「トトロ」や「魔女の宅急便」など、テレビや映画などで子どもたちになじみの深い曲も取り上げておりますので、教材としてはバラエティー豊かに取り上げられているかなと思っております。

住田委員長 よろしいでしょうか。他にはどなたか、音楽のほうはよろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、質疑のほうを終わりたいと思います。

それでは、協議のほうに入らせていただきますが、国語の教科用図書について協議をしたいと思います。

ご意見ございましたらお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 星1においては、教科用図書の絵に基づいて教師の話を聞いて楽しんだり、声や体の動きで反応したりする活動を想定しているのではないかと考えられます。国語に限りませんけれども、視覚に入りやすく、五感をフルに活用して学ぶための配慮がされているなど感じました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 星1から星3まで、少しずつ段階を追って学習内容を深めています。段差が非常に小さくて、系統性の配慮を感じました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 特別支援には多様な発達課題を持つ児童さんたちがいることを踏まえて、振り仮名を振るなどの配慮がなされていると思いました。また、星3にもなると、絵日記やはがきなど、社会生活における自立を意識した題材が取り上げられています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

教育長。

吉田教育長 同じような繰り返しになってしまうのですが、知的障がい教育では、子どもが

自立して社会参加するために必要な力を育てる、これが目的になりますので、自立的な生活に必要な事柄、これを体験でき、实际的に学ぶという、いわゆるさっきの説明にもありましたけれども、領域と教科を合わせた生活関連学習、これをすることがあります。私どもなんか星印本と言っているのですけれども、この星印本はその点においても有効だというふうに考えられます。例えばこれなんか星印、国語の本ですけれども、こういったように標識を理解するとかというふうな形で勉強する。あるいはこういった手で引っ張るような、こういうような、これは国語の本なのです。こういう形で、こういうふうになっているから、逆に言うと同じ教科書使いたいということにもなってくるということがあるのだらうというふうに思っております。いずれにしても、これを選べるようにしておくということが大事なかなと思います。

住田委員長 私は、日常性に合ったといいますか、国語の中で日常的に非常に有効なことが取り上げられているなというふうに感じています。

他にはどうでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、国語のほうを終わりにして、算数のほうの協議のほうに入りたいと思います。

ご意見をお願いいたします。

進藤委員。

進藤委員 先ほどの説明にもありましたけれども、星1においては、数の概念の基盤となる考え方や技能が丁寧に扱われていると感じました。見落としがちではございますが、発達に課題を持った生徒さんにとっては、非常にこの点は重要な視点だと思います。

また、星2以降になりますと、お金など身近な生活の中から具体的な課題を設定して、実生活に結びつける題材を取り扱うことによって、国語と同様に社会生活における自立を意識していると考えられます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 透明シートや立体的な加工など、感覚的な理解を促す工夫が随所に見られると思います。

住田委員長 他にはございますでしょうか。

教育長。

吉田教育長 先ほどと同じですけれども、各委員さんのおっしゃったことと全く同じなのですが、星印本でお金と、それから買い物というような形で明記をするようにしておりますし、またカレンダーの仕組みということで、あわせて時計の読み方、こういった生活に即してつくられておりますので、生活単元学習が進めやすくなっているというふうに算数でも思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、算数を終わりまして、音楽の図書について協議したいと思います。

いかがでしょうか。ご意見ございますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 星1においては、簡易な打楽器を使って音を出したり、音楽に合わせて体を動かしたりすることによって、音楽の楽しさを味わうあるいは理解するところから学習を始めています。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

はい。

堀川委員長職務代理者 国語、算数と同様に、五感をフルに活用して学習できるように配慮されていると思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 星3においては、交流教育を踏まえた課題が示されるなど、特別支援教育ならではの学習が展開できるよう工夫されていると思いました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

いずれの教科書も非常に日常性があったり、それから理解しやすく絵の対応といいますか、大きく描いてあったり、非常によくできているなという気がいたしました。

他になれば、国語、算数、音楽を一括して審議したいと思いますけれども、総括的な意見はございますでしょうか。

どうぞ。

堀川委員長職務代理者 国語、算数、音楽、全ての特別支援学校用教科用図書に言えることですが、これら文部科学省著作の教科用図書は、いずれも発達に課題を持つ児童一人一人の実態に応じたきめ細やかな学習が展開できるように配慮されておりまして、特別支援学級に在籍する児童の一つの選択肢として、やはり有効なのではないかと思いました。

以上です。

住田委員長 他の方、どなたかございますでしょうか。よろしいでしょうか。

他の協議したいことございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、協議及び採択については、国語、算数、音楽を一括して行いたいと思います。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、特別支援教育の教科用図書は、文部科学省著作の教科書のみになりますの

で、冒頭に申しあげました形式と少し違いまして、採択の可否については投票によって決定したいと思うのですけれども、採択の場合はマル印を、それから採択しない場合にはバツ印をご記入いただきたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 続きまして、投票箱を改めさせていただきたいと思います。

〔投票箱点検〕

住田委員長 それでは、投票をお願いしたいのですけれども、点呼をお願いいたします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票は終了いたしました。投票漏れはございますでしょうか。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりましては、立会人として進藤委員、荒木委員を指名したいのですが、よろしくをお願いいたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

住田委員長 それでは、投票結果についてご報告をいたします。

推薦する者 5 票

推薦しない者 0 票

以上でございます。

ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

それでは、会議を続けます。

国語の教科用図書について審議いたしたいと思います。

それでは、選定資料のご説明をお願いするため、選定委員のご入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 それでは、国語の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明をお願いいたします。

高橋選定委員（桜井南小校長） それでは、国語の教科書について説明させていただきます。

報告内容を焦点化し、資料に示された5観点に沿って申し上げます。観点1の学習指導要領の教科の目標とのかかわりにつきましては、5社ともに伝え合う力の育成を図るため、話すこと・聞くことの教材に工夫が見られます。同様に代表的な古典作品に親しませ、伝統的な言語文化を学ばせたいという配慮が見られます。

東書は、話すこと・聞くことの力をつけるための教材を系統的に配置し、代表的な古典作品以外にも神話や伝承、ことわざなどを掲載しています。

学図は、冒頭に学級づくりを設定し、それを踏まえてコミュニケーションの活用を図る教材を組んでいます。古典作品については、俳句や短歌なども含め幅広く取り上げています。

三省堂は、話すこと・聞くことをスピーチなどの5つの系列に分け、計画的、系統的に学習できるように設定しています。古典作品については、外国の詩も取り上げています。

教出は、話すこと・聞くことを日常化を図る系列など4つの系列に分け、計画的、系統的に学習できるように設定しています。古典作品については、文化という項目を設け、昔話から伝統芸能まで幅広く取り上げています。

光村は、話すこと・聞くことで紹介、報告、討論など受けて返すやりとりを系統的に設定し、古典作品については幅広く取り上げ、民話などの読み聞かせ教材を全学年に位置づけています。

観点2、内容につきましては、5社ともに中学校の学習にスムーズに接続できるような教材が設定され、確かな学力の定着を図る工夫がされています。

東書は、仕事に打ち込む人間の姿を描いた作品など生き方を考えさせ、豊かな夢を描く教材を設けています。また、各学年の巻末に習得すべき内容をまとめて提示するとともに、主体的な学び方を身につけさせるため、課題解決的な学習が進められるよう配慮されています。

学図は、資料編の中で谷川俊太郎の詩「卒業式」を取り上げ、中学校の学習につながるような表現技法を紹介しています。また、前の学年で学習した漢字を文脈の中で使えるように教材を設けています。

三省堂は、発展教材として中学校で学習する常用漢字の一覧を掲載しています。また、基礎的、基本的な言語機能の定着を目指して、2年生以上に覚えておきましょうを設けています。

教出は、単元「中学生になるみなさんへ」で、生きるための道しるべになるような言葉を示しています。また、各単元に領域ごとの学習ポイントを示す「ここが大事」を設定しています。

光村は、単元「卒業するみなさんへ」で、小学校で身につけた力を確認できるよう配慮しています。また、学年に応じて人物を表す言葉などを提示して、思考や表現の助けになるよう工夫されています。

観点3、資料につきましては、5社ともに学習効果を高めるような挿絵や写真が使われています。

東書の挿絵や写真は大きく見やすいものが使われ、内容の理解を助けています。

学図も同様ですが、小さな単元にも親しみやすい挿絵が入っています。

三省堂も同様で、既に習った漢字の学習のページにも多くの挿絵が入っています。

教出も同様ですが、挿絵に合わせた吹き出しもうまく使われています。

光村も同様で、挿絵や写真が内容の理解を助けています。

観点4、表記・表現につきましては、5社ともに複数の記号の使用やカラーユニバーサルデザインへの配慮があり、わかりやすく見やすいつくりになっています。

東書では、記号のデザインや色使いから、大切な内容が目につくようになっています。分かち書きになっているのは2年生までですが、3年生の最初の単元までは、単語や文節の途中で改行しないよう配慮されています。

学図は、キャラクターの吹き出しが効果的に使われ、学習する際のヒントとなっています。分かち書きは2年生まで、改行への配慮は1年生上巻までとなっています。

三省堂は、どんな領域に焦点を当てたものなのか、どんな学習をすればよいのかが一目でわかるようになっています。分かち書きは2年生までですが、全ての教材が見開きの右ページ、偶数ページから始まり、見やすくなっています。

教出は、キャラクターの吹き出しが効果的に使われ、学習する際のヒントとなっています。分かち書きは2年生まで、改行への配慮は1年生上巻までとなっています。

光村は、大事なところを太くはっきりとした線で囲み、わかりやすくしています。分かち書きは2年生まで、改行への配慮は1年生までとなっています。

観点5、総括につきましては、5社ともに1年間の学習の見通しや学習のポイントが示されていて、学力向上への配慮が見られます。また、能や狂言などの伝統芸能に触れる機会や読書環境が整備されている本市の子どもたちにとっては、関連した教材が取り上げられている教科書が適切と思われるが、こちらも5社ともに掲載されています。

東書では、単元ごとの手引きで既習事項を生かし、実生活に活用できるような工夫がされています。また、付録に能や狂言の紹介が掲載され、著名人の読書体験を生かした単元も設けられています。

学図では、物の見方を広げたり言葉を選んで表現したりする活動が取り入れられています。また、狂言「盆山」を教材として取り上げる他、読書単元を上下巻ともに設定しています。

三省堂は、単元の初めに新出漢字をまとめて学習するような設定になっています。また、狂言「しびり」を教材として掲載する他、作家による読書紹介を通して読書活動の充実を図っています。

教出は、日常生活に生かす力をつけるための単元が設けられています。また、付録に狂言「附子」を取り上げる他、本の紹介を中心とした読書教材も掲載しています。

光村は、単元名とリード文でわかりやすく学習の目当てや活動内容を示しています。また、狂言「柿山伏」を教材として取り上げる他、自分と本とのかかわりを振り返らせる単元も設定されています。

説明は以上です。

住田委員長 それでは、質疑を行いたいと思いますけれども、各委員の質問に続いて選定委員のご回答をお願いしたいと思います。

それでは、選定委員といたしまして、どの教科書をご推薦していくということをお答えいただ

ければと思います。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答えいたします。

選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行いました。協議終了後、選定委員15名全員が5種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、55点、11番、学校図書、46点、15番、三省堂、41点、17番、教育出版、44点、38番、光村図書、75点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点の光村図書、55点の東京書籍、46点の学校図書を推薦いたします。

以上でございます。

住田委員長 どなたかご質問ございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 現在、光村図書を採択して4年使用しておりますが、選定委員会では、各学校からの実績等、話題でどのようなことが上がっていますでしょうか。

高橋選定委員（桜井南小校長） 各学校からの報告書によりますと、市内30校全ての小学校が、現在使用している光村図書が適正であると答えております。理由といたしましては、掲載されている物語文や説明文が、各学年の発達段階に応じてわかりやすく、指導しやすいこと、また小学校6年間を通して系統的に学習が積み重ねられるなどのことが挙げられておりました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 実際、現場の先生方が使用していて、使いづらいなどという意見はありましたか。

高橋選定委員（桜井南小校長） 学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、特に使いづらいなどの意見はありませんでした。先ほども述べたように、系統を意識した授業が行いやすく、学習の流れもわかりやすいとのこと。また、教材や教具の挿絵も低学年は大きく見やすくなっていたり、物語文では重要な場面に挿絵があり、子どもも理解しやすいという面があるなどの意見も出ておりました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 1号委員で保護者の方が入っていましたが、どのような意見が出ましたでしょうか。

高橋選定委員（桜井南小校長） 現在使用している教科書は、子どものころから使用しているものでなじみがある。あるいは自分の子どもが宿題で音読をしていたが、とても懐かしかった。そういう意味でも親子で楽しめるものになっている。さらに、宿題などで漢字がわからないときに巻

末ですぐに調べることでき、よかったという意見がございました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ質疑を終わりまして、協議を行いたいと思います。

それで、4年間の使用実績というところからやりたいと思うのですけれども、今回の採択というのは、前回平成26年度採択時と同じ検定本から採択することとなるわけです。協議の中心は、前回採択をしました光村図書を4年間使用してきてどうであったか。学校からの報告書を見ると、30校全て小学校で適正であったというふうに、先ほどのご報告もございました。それで、特別な課題はないのかなというふうには思うのですけれども、ご意見をいただければと、こういうふうに思います。いかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 全ての学校で適正との評価をしていて、さらにその適正と答えた理由の中で一番多かったのは、掲載されている物語文や説明文が、各学年の発達段階に応じてわかりやすく指導しやすい内容構成であるというものでした。教えている先生方もなれているということもあるかもしれませんが、国語でも発達段階に応じて積み重ねができるということは、小中一貫教育で系統立てて学習している越谷市の子どもたちにとって適切だと考えます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 やはり、国語というのは全ての教科の基本になりますので、基礎・基本の力を子どもたちにしっかりと身につけさせることが大事になると思います。光村図書の「たいせつ」というコーナーや巻末の「たいせつ」のまとめは、この報告書を見ましても、子どもたちにとってよいものだなと改めて思いました。

住田委員長 他には。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 教える側の視点で考えてみますと、単元のゴールが明確で、学習計画や手だてがわかりやすいというのは、やはり教えやすいのではないかなと思いました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

教育長。

吉田教育長 求められている学力の要素の一つに、思考力、判断力、表現力を育成するということがあるわけですが、このためには言語活動の充実を図ることが大切になってくるので、しかも国語はそのベースになってくるものというふうに思っております。この点、他社の教科書に工夫がないということではないのですけれども、現行使っているこの教科書では、思考を整理したり深めたりするために必要な主体的に自分を考え、表現したいあるいは友達の考えを聞いたり、振り

返ってまとめたりする活動、さらには既習事項を活用した別な形で表現するといった活用力、これを鍛える活動などに工夫が見られ、系統的にわかりやすく子どもたちにとっては学習、教員にとっては指導できるようになっており、先ほど来から話が出ていますけれども、4年間の使用実績において、そのことが認知されているというふうに思いますので、継続することに問題ないというふうに思っております。

住田委員長 私もこの場で、この光村でよかったなというふうに考えているのが結論なのですがけれども、まず先ほどもいろいろはかったりいろいろ私はするくせがあるものですから、採択されている現在使われている光村は、5年、6年は1冊なのです。それから、1年から4年は分冊、2分冊にそれぞれなっています。確かに小学生は非常にランドセルが重いのです。そういう点を考えてよかったのかなと。そうやってみると、大体5年生、6年生で四百六、七十グラムぐらいあると思います。その他きっと子どもはノートを入れたりいろいろするので、国語だけでもかなりの重量があるのかなと思います。

一方、見ていてこれはと思ったのは三省堂なのです。三省堂は、これは1年生は上下巻の2分冊、2年以上は1冊になって、さらに副本がつくのです。ですから、かなりその辺あると思うのですけれども、副本がつきますと、6年生ですと560グラム、ぐっと重くなります。2年生は大体副本をつけても480ぐらいなのですから、6年生は560とかなり重い。ただ、内容はどこの出版社も非常によくできているなという感じだけはしています。本当によく研究されている内容だと私は思っています。

光村が使われているということが基本なのですから、他には何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、光村以外の教科書について協議をしたいと思うのですけれども、ご意見聞かせていただければと思うのですが、済みません。

進藤委員。

進藤委員 先ほど来、何かと話題の重さとか分冊のお話ですけれども、東書の場合は光村同様、4年生以下に関しましては上下巻、それ以上、5年生、6年生は1冊ということになっておりまして、低学年、中学年に対しての重さというか、ボリュームに対する配慮がされているのかなというふうに感じました。

それから、こちらに関しましては、言葉の力ということ 키워ドに学習が重点となることを、各単元末に明示されていて、「ひろがる」で実生活であったり、他教科でも活用できるように工夫されているなというふうに感じました。あと国語のノートのつくり方が、各学年ごとに記載されているということも非常に興味を引きました。あとは生活の中の言葉として、日常会話の一場面から、お互いの立場を尊重したコミュニケーションのとり方などを扱っていて、日常的なコミュニケーション能力を育てているなと感じました。

あと学図ですけれども、こちらは全学年において上下巻分冊になっておりまして、こちらもう重さであるとかボリュームに関して配慮がされているなど感じました。こちらは巻頭に学習の進め方、それと巻末に保護者向けに1年間の学習の見通しを示しているということが、非常に目を引きしました。単元末で「国語のカギ」というところで学習ポイントを簡潔に記載されていて、後で見返すのが簡単で便利かなと思いました。また、各学年ごとに「コミュニケーション」という各種教材が設けられておりまして、こちらからは実生活におけるコミュニケーション能力を系統的に身につけさせようとしている工夫があるなというふうに感じました。

以上です。

住田委員長 他の教科書、いかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 三省堂の「思考と表現のプラザ」は、図や絵、写真などから関連づけて自分の考えを表現する学習活動が特色と言えます。

それから、教育出版では、発表内容を考えたり発表し合ったりする際に、子どもの吹き出しのイラストから考えを深めることができる工夫があります。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。光村以外のものはどうでしょう。どちらでもよろしいですが、両者含めて全体から見ていかがでしょうか。何かございますでしょうか。

他に、それから協議したい内容等ございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、採択のほうに移らせていただこうと思っています。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものとしたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 投票箱を改めさせてください。

〔投票箱点検〕

住田委員長 それでは、投票を行いますので、点呼をお願いいたします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票は終了いたします。投票漏れはございませんね。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人といたしまして、荒木委員、堀川委員を指名したいと思います。お願いいたします。

〔立会人立ち会の上開票〕

住田委員長 それでは、投票結果を読み上げさせていただきます。

2 番	東京書籍	2 1 票
1 1 番	学校図書	1 8 票
1 5 番	三省堂	1 6 票
1 7 番	教育出版	1 7 票
3 8 番	光村図書	2 4 票

ということで、38番の光村を採択いたします。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

それでは、会議を続けます。

書写の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料のご説明をお願いするために、選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 それでは、書写の教科用図書につきまして、選定委員より選定資料のご説明をお願いいたします。

木場選定委員（千間台小校長） それでは、書写の教科用図書についてご説明いたします。

東京書籍につきましては、学習過程が4段階になっております。まず、調べて気づかせる学習から始まっています。内容については、「生活に広げよう」のコーナーで各学年に応じた内容、見学メモ等を紹介し、生活に生かせるヒントが豊富に示されています。また、基礎・基本の定着を図るために、姿勢の全体像がよくわかるように大きな写真で示したり、鉛筆の持ち方を鉛筆のしんのほうから写すなどわかりやすく示しています。

資料については、書く姿勢をこぶし1個分、「あしぺた ぴん とん」の言葉で説明し、硬筆の持ち方は全学年、毛筆は3学年以上、用具の置き方等を詳しく掲載しています。教科書のサイズが、横幅が3センチメートル広く、他の5社とはこの点が違います。

表記・表現では、運筆を「トン・スー・ピタッ」の擬音語を用いて、感覚的、視覚的に捉えられる工夫があります。

総括として、まず4段階の学習過程で段階的、系統的な学習ができ、払い、はね等の表現に擬音語を用い、理解しやすい工夫があります。さらに、新聞づくり等の学習で、適切な筆記用具を選ぶこと、工夫すること、それを考えたことを明らかにさせる学習となっています。表現力の向上につながると考えました。

次に、学校図書につきましては、学習過程が6段階と細かく、目当てから試し書き、そして課題に入っていくという構成で、見通しが持てる工夫がございます。内容につきましては、基礎・基本の定着を図るために、文字を書く姿勢を写真と、背筋はぴんなど唱え歌で示しています。

資料につきましては、書く姿勢や鉛筆、筆の持ち方が全学年、その他の用具の置き方、片づけの手順も巻頭ページで写真を用いて説明しています。

表記・表現では、毛筆、硬筆のポイントをそれぞれのキャラクターである「ふではかせ」、「えんぴつはかせ」の吹き出しで説明しています。また、運筆の指導では、実物の筆を使った写真で穂先を意識させる工夫がされています。

総括として、毛筆では穂先マークで連続して表記し、理解を深める工夫があります。また、高学年では最後のページで、毛筆、硬筆を生活に広げる具体例が示されています。

三省堂につきましては、学習過程が4段階で構成されており、練習で書き込みができ、3学年以上では毛筆に入る前に狙いをまず硬筆で書き、確かめてからの学習になっています。

内容については、基礎・基本の定着を図るために、文字と書く姿勢を大きなイラストと簡潔な合い言葉、穂先の向きは「十時半」で、筆を書くときの約束等を図と言葉で説明しています。

資料では、基本点画の書き方が第4学年以上で巻頭の折り込みページに掲載し、基本を確認できる工夫がされています。

表記・表現では、基本的に1単元2ページの見開きで掲載されています。文字の中心線や形、ポイントを説明したり、筆の穂先を意識させる表記になっています。

総括としては、4段階の学習過程を明確にし、基本点画の書き方では穂先を「十時半」と表現するなど、穂先に対するポイントが巻頭に示され、理解しやすい工夫があります。全体的に多くのいろは使わず、淡い色でイラストが多く、要点を捉えたまとめ方になっています。

教育出版につきましては、学習過程が第3、4学年で準備から試し書きに入る8段階、第5、6学年が目当て確認後、毛筆か硬筆で試し書きして入る7段階学習になっています。また、生活に生かす資料を他社は後ろに持ってきていますが、單元ごとにトライアンドチャレンジで具体的に紹介しています。

内容では基礎・基本の定着を図るために、姿勢や硬筆、毛筆の持ち方をイラストと写真で説明しています。

資料では、書く姿勢や硬筆、毛筆の持ち方については全学年、3学年以上が用具の置き方、後片づけを具体的に写真で6ページで説明しています。

表記・表現では、投げかけ、考えよう、そしてここが大切なまとめ等をマーク表記で明確にしています。さらに、キャラクターの吹き出しで説明をしています。

総括として、第2学年以上、巻末にあいうえおの50音が示されており、基礎・基本の振り返りができます。第3学年では、手書きと活字のよさを確認できるよう構成されています。また、第4学年では、「新聞を作ろう」で役割分担での作成を提案し、協調的な学習に取り組む工夫がされています。

光村図書につきましては、学習過程を第4学年以上から6段階とし、学習した内容を発展させ

る構成になっています。基本的な点画の書き方は、淡墨図で説明されています。第3学年の学習では、1年間で学習する点画の内容を最初のページで紹介しています。内容については、基礎・基本の定着を図るために、文字を書く姿勢と硬筆、毛筆の持ち方を全学年で示し、さらに机上の道具の配置等も詳しく説明しています。資料では、巻末ページに前の学年、そして本学年で使う漢字が掲載されています。

表記・表現では、筆遣いについてキャラクターと吹き出し、擬音語で詳しく説明しています。運筆の指導を実物の筆で第3学年が6ページ、第4学年が1ページで説明しています。

総括としましては、学習の進め方で学習の流れを示し、部分の組み立て方で文字とへんやつくりの違いを明確にすることで理解しやすくしています。また、よい書き方と悪い書き方を提示し、考えさせながら学習を進めています。第6学年では、作品集思い出絵巻等学習したことを生かすための参考資料が多く掲載され、生活や教科等に役立つよう工夫され、授業づくりでのノート指導につながると考えます。

日本文教出版につきましては、学習過程を低中学年が4段階構成、高学年は試し書きから始まる6段階構成としています。内容については、第5、6学年で行書を紹介しています。また、基礎・基本の定着を図るために、文字を書く姿勢と硬筆、毛筆の持ち方を合い言葉で示しています。大きな目の写真を用いて、机上の道具の配置等を詳しく説明しています。

資料では、書く姿勢や筆の持ち方について、鉛筆等が全学年、筆が第3学年以上、用具の置き方等を具体的に巻頭ページに写真で説明しています。また、第4学年から第6学年において、点画の種類と筆遣いについて確認するページがあり、筆遣いを確かめることができます。

表記・表現では、文字の説明で必ず筆順と中心線が記されています。各学習過程のキャラクターをつくり、ポイントを吹き出しで明記しています。運筆の指導では、実物の筆で第3学年が8ページ、第4学年では1ページ掲載しています。また、分筆の指導で擬音語と穂先を注目させる工夫で、わかりやすいものとなっています。

総括としまして、文字の説明には必ず筆順と中心線が示されており、学習過程が「考える」から始まり、段階的指導ができる工夫があります。また、キャラクターの言葉に目標を達成させるヒントが隠されており、興味、関心を持たせながら取り組む工夫があります。さらに、第6学年ではさまざまな筆記用具を取り上げ、荷物の送り状等の具体例を示し、学習内容を実生活に生かす工夫もごさいます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

住田委員長 ただいまご報告いただいたわけですが、委員の皆さんの質問に続いて、ご回答を選定委員の方からいただきたいと思います。

それでは、私のほうから、選定委員としてはどの教科書を推薦するかということなのですが、お答え願えますでしょうか。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答えいたします。

選定委員会におきましては、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行いました。協議終了後、選定委員15名全員が6種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、37点、11番、学校図書、46点、15番、三省堂、40点、17番、教育出版、39点、38番、光村図書、75点、116番、日本文教出版、34点でした。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点の光村図書、46点の学校図書、40点の三省堂を推薦いたします。

以上でございます。

住田委員長 ただいまの推薦、光村、それから学校図書、三省堂、かなり得点としては大きな差がございましたけれども、他に何かご質問等ございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 現在、光村図書を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会で各学校からの実績等の話題、どのようなことが上がりましたでしょうか。

住田委員長 お願いします。

木場選定委員（千間台小校長） 各学校からの報告書によりますと、市内29校の小学校が現在使用している光村図書が適正であると答えております。

理由といたしましては、一番多かった意見は、国語と同じ光村図書ですので、国語で学習した内容と関連した教材があり、指導しやすいというものでした。これに関しては選定委員会での協議でも話題になり、他教科で学んだことが生かせるのは、思考力、判断力を育てる上でも非常に効果があるのではないかという意見が委員からも出ておりました。

また、毛筆の学習で大切になる穂先の動かし方を細かく記載されていて、子どもたちにとってわかりやすいというご意見もございました。

以上でございます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 今回の書写に関しましては、適正ではないと回答した学校が1校あったようですが、現場の先生方が現在使用していて使いづらいなどという意見はなかったでしょうか。

住田委員長 お願いします。

木場選定委員（千間台小校長） 学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、特に使いづらいというような意見はございませんでした。

適正でないと答えた学校が1校ございましたが、挙げられていた理由は、指導する際に不都合

はないのでないのかという意見がありました。また、課題を設定し、解決するという学習の流れで曖昧な部分が多いともありましたが、光村図書はよい書き方、悪い書き方、両方掲載されており、学習する上で子どもたちが考えることができるように工夫されているという意見もございました。

以上でございます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 選定委員会では、他にどのような話題が出ましたでしょうか。

住田委員長 お願いします。

木場選定委員（千間台小校長） 中学校で鉛筆の持ち方が気になるという話から、鉛筆の持ち方のイラストについて話題になりました。どの教科書も鉛筆の持ち方は載っておりますが、その中でも光村図書は具体的でわかりやすいのではないかと意見がございました。

また、先ほど述べましたが、国語で学習したことがそのまま書写で関連して学習できることは、メリットではないかという協議にもなりました。

以上でございます。

住田委員長 他にはどなたかありますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ質疑を終わりたいと思います。

それでは、協議に入らせていただきます。

まず、4年間の使用実績について協議を行いたいと思うのですが、今回の協議の中心は、光村図書を4年間使用していてどうであったかというふうになるわけでありまして、学校の報告書を見ると、適正であったが29校、適正でないというのが1校というふうになっております。選定委員からのご報告にもあったのですけれども、特に問題はないのかなということで、皆さんのご意見を伺いたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 先ほどからご説明の中にも多々出てきておりますが、国語と関連した内容があって指導しやすいという意見が多かったということです。書写の教科書に示された課題が、国語の教科書で学習した文学作品の一部分や国語の学習内容に即した感想文、こちらを題材に作成されるということで、手本になった文字を美しく書くということ以上に、児童の思いを込めて書くことにつながる指導ができるのではないかと思います。

また、文字を書く上でのポイントが、写真や絵だけでなく、色別になっていたり、筆圧や筆の向きまで細かく示されているので、児童にとってわかりやすいとありますけれども、先生1人でクラス35人くらいの生徒一人一人に丁寧に筆の動かし方を教えるというのも難しいのではないかと

というところで、子どもたち自身が教科書を見てポイントがわかるというのは、かなりメリットになるのではないかと思います。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

はい、どうぞ。

進藤委員 先ほど来出ているように、国語で学習した内容と関連した教材があって指導しやすいということとも重なってくるのですけれども、こちらの書写の教科書にも「たいせつ」というコーナーがありまして、これも光村の国語の教科書にも全く同じ「たいせつ」という欄がありますので、子どもさんたちにとっても国語と同じで、ここが大事なのだなということがすぐに認識できるのではないかと思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

教育長。

吉田教育長 前回の採択のときも言ったわけですが、どの教科書もそれぞれ工夫があって使いやすいものになっておりますけれども、教材とのかかわりで言えば、国語の教科書と関連しているほうが学びやすいのではと判断したところですが、学校からの声もこの点について言及するところが多いということでしたので、引き続きということで問題ないと考えております。

住田委員長 私は、光村でよかったなというふうに思った。なぜかという、もう1社くらい、たしか三省堂でもあったと思うのですけれども、例えばこういうような手紙であるとか文章を書くとき、必ず最初のところを1文字あける。その説明が出ているのです。他のところはあいたものは書いてあるのだけれども、その1文字あけるということの説明がないというのがほとんどのところで、これはよかったなと思っております。

光村についてはそんなところなのですけれども、他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、協議の2番目に、光村以外の教科書について協議したいと思います。

どなたかご意見ございますでしょうか。

では、私のほうから言わせていただきますけれども、どの会社も書くときの姿勢を正す、これはどの教科書も出ています。やはり書くとき姿勢が大事だと。それから、最近若者は、私もやれと言われたってやることはとてもできないです。鉛筆や筆の持ち方、こんなにやって持っている人がたくさんいます。そういう点では、本当にどこの会社も筆の持ち方、鉛筆の持ち方をきちっと指導しております。そういう点では、どこの会社に限らず非常によくできているなという。それから、あと丸や点の打ち方、そういう点ではどの会社もよかったなというふうに思っております。

それから、特徴的なのは、これは先ほどもご説明いただいたのですけれども、東京書籍、「スー・

ピタッ・トン」というような擬音語といますか、擬音語を使って説明して、非常にある意味では指導しやすいのかなというふうには私は思った次第ですし、それからあと薄墨といますか、そういうようなことを利用したりしているところでも、とにかくみんなそれぞれに工夫がなされていて、みんなそれぞれきちっとともに書いてあるなというふうな気がします。よい例、悪い例ではないですけども、そういう点では、光村もよかったのかなというふうには思っております。

他にはどなたかありますでしょうか。

どうぞ、堀川委員。

堀川委員長職務代理者 日文さんでは、考えるとか確かめるとか、字形が整うポイントを繰り返し示していき、字をバランスよくきれいに書く練習になるのではないかと思います。

また、鉛筆や筆の持ち方については、各社とも大き目の写真やイラストを多用して丁寧に説明しています。よく見ると、写真とイラストを細かく使い分けている教科書も見られました。

あと、おもしろいなと思ったのは、東京書籍さんの表紙の裏に、3年生以上なのですけども、身の回りの文字を探そうというコーナーがあって、身近にあふれているさまざまな文字を改めて身近に感じておもしろいなと思いました。

以上です。

住田委員長 他にはどなたかございますでしょうか。

それでは、何か他に協議したいことというのはございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、これより書写の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものとしたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 それでは、投票箱のご用意をお願いいたします。

〔投票箱点検〕

住田委員長 投票に移りますので、点呼をお願いいたします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票を終了いたしました。投票漏れはございませんですね。

それでは、開票及び集計に入りますので、事務局の集計に当たりまして、立会人として堀川委員、進藤委員を指名したいと思います。

〔立会人立ち会の上開票〕

住田委員長 それでは、集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

2 番	東京書籍	1 7 票
1 1 番	学校図書	2 0 票
1 5 番	三省堂	1 9 票
1 7 番	教育出版	1 7 票
3 8 番	光村図書	2 4 票
1 1 6 番	日本文教出版	1 6 票

ということで光村を採択いたします。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

◎休憩の宣告

住田委員長 ここで一旦休憩をとりたいと思います。

審議のほうは2時55分から再開したいと思います。

休憩 午後 2時35分

再開 午後 2時55分

◎開議の宣告

住田委員長 それでは、会議を続けます。再開いたします。

理科の教科用図書について審議をいたします。

それでは、選定資料のご説明をいただくために、選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 それでは、理科の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明をお願いいたします。

五十畑選定委員（城ノ上小校長） それでは、理科の教科用図書についてご説明をさせていただきます。

説明ですけれども、原則的には調査の観点ごとに横に教科書会社ごとに報告をさせていただきます。

まず初めに、調査の観点1、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてですが、東書では単元の導入においてインパクトのある写真やイラストを紹介し、生活経験や既習事項を示し、児童の学習意欲が高まるよう工夫されています。観察、実験については、手順や用意するものが図や写真で示され、容易に入手できる器具、材料を利用して観察、実験ができるようになってい

ます。また、理科の学習が生活や職業と深くかかわっていることを示す資料を載せています。

大日本では、単元の導入において学習内容に関する身近な現象の写真や既習事項を示し、児童の学習意欲が高まるように工夫されています。そして、自然に触れる体験的な活動や学んだ知識を活用して行うおもちゃづくりなどの科学的な体験を積極的に紹介して、実感を伴う学習ができるよう工夫されています。

学図では、単元の導入において学習内容に関する写真や既習事項、観察や実験で使うものを示し、児童が意欲的に学習に取り組めるように工夫されています。そして、理科が仕事や生活と関連する事象をコラムとして取り上げ、理科を学ぶ意義が捉えられるようになっています。

教出では、単元の導入において、自然現象や学習内容に関する写真を示しています。アニメのキャラクターを用いたりして児童が興味を持てるように工夫されています。学習内容と関連した実生活の事象や実社会で活躍する人々などを数多く紹介したり、習得した知識や技能を日常生活に応用していくために、物づくりをしたり身の回りで見られる現象を説明する場面を設けたりして、実感を伴う理解が図れるように工夫されています。

最後に、啓林館では、単元の導入において学習内容に関する写真が示されています。また、別冊があり、自分なりの考えを書き込んで意欲的に取り組めるような工夫が見られます。観察、実験では、用意するものを明記したり手順を図や絵を用いて示したりして、見通しを持って活動に取り組めるようになっています。

続けて、調査の観点2、内容についてですが、東書ではたくさんの発見をしたねというコーナーを設け、次の学習や次の学年、中学校の学習内容を系統的に記載しています。ノート書き方などでは、発達段階を考慮した書き方を示しています。観察、実験については、器具、材料の手順をまとめて示してあり、写真や図を使って観察、実験の仕方を説明しています。単元の最後の確かめように問題を載せ、単元で得た知識が確認できるようになっています。

大日本では、「ジャンプ」というコーナーを設け、既習の学習内容や次の学年や中学校で学習する内容を示しています。巻末にも次の学年の学習内容を記載しています。また、科学用語の説明等が図や写真で示されています。単元末の「たしかめよう」のページで、学習したことをキーワードなどのヒントを使いながら自分でまとめることができるようになっています。

学図では、「考えよう調べよう」のところにみつける、伝える・聞くなどの学習方法が発達段階に応じて記され、考え方や発表の仕方などの連続性が見られます。観察、実験については、観察、実験の工夫が写真や図で示され、実験器具の使い方が各学年とも巻末にまとめて載っています。単元末の「ふりかえってみよう」に問題が用意されており、振り返りのための参照ページも表示されています。

教出では、単元の初めに「学習のつながり」を記載しています。6年生の巻末には中学校で学ぶことが設けられ、1分野、2分野に分け、つながりを示しています。観察、実験については、

実験の様子などを写真や図で示し、注意事項や取り組み方が明示されています。単元末には、穴埋め式の確かめがあり、科学用語や学習の定着が確認できるようになっています。

最後に、啓林館では巻末に次の学年でどのような学習をするのか、「〇年生の理科に向けて」を記載し、学習のつながりがわかるようにまとめています。観察、実験については、手順が写真や図でまとめてあります。単元の最後の「たしかめよう」では、図での解説があり、自分の言葉でまとめたり科学用語の確認ができるようになっています。

続けて、調査の観点3、資料についてですが、東書では絵や写真を見開きや折り込みページへ載せています。そして、巻末に観察、実験に必要な基礎技能が掲載されています。重要な技能は複数の学年にわたって記載されています。「理科のひろば」のコーナーには、発展的な内容や実社会で利用されている内容が記載されています。

大日本では、絵や写真を見開きで配慮したページが盛り込まれています。実験器具の使い方については、最初に使用する実験のところに記載されています。資料や「ジャンプ」、「やってみよう」のコーナーがあり、実生活や実社会で利用されている内容を紹介しています。

学図では、絵や写真を見開きで配置したページが盛り込まれています。巻末には観察、実験の基礎技能が掲載されています。重要な技能は複数の学年にわたって記載され、読み物、資料などには発展的な内容や実生活で利用されている内容が記載されています。

教出では、絵や写真を見開きや折り込みページで載せています。巻末には観察、実験の基礎技能が掲載されています。また、各学年に1単元を取り上げたミニ図鑑が掲載されており、資料や「科学のまど」のコーナーなどには、実用的な内容や発展的な内容が記されています。

最後に、啓林館では絵や写真が多く掲載されています。実験器具の使い方については、最初に使用する実験のところに記載されています。別冊の「わくわく理科プラス」には、器具の使い方を確認する場を設けています。

続けて、観察・調査の観点4、表記・表現についてですが、全ての会社において未習の漢字には振り仮名がついており、重要な用語は太字で示されています。また、東書、学図、教出は全学年とも本文は敬体で記されており、大日本と啓林館は3年生が敬体、4年生以上は常体で記されています。改行についてですが、東書、大日本は単語や文節で改行しています。

学習の流れについての表記についてですが、東書では問題解決の各過程を大きな文字で示しており、各問題からまとめまでは線でくくられ、実験の手順は矢印で示されています。学図では、問題解決の流れをページの両サイドに示しています。教出では、問題解決の各項目を帯で表記し、学習の流れを可視化しています。

最後の調査の観点5、総括ですが、東書では、まず巻頭には学習する内容を区分ごとに系統立ててまとめて示しています。また、巻末資料で言語活動にかかわる内容を掲載し、記録や話し合いの方法が身につくように配慮しています。また、ICTを活用した授業場面をイラストで紹介

しています。

大日本ですが、巻頭では問題解決能力を踏まえた学習の仕方を紹介しています。問題解決の過程で意見を交換し合う場面を積極的に取り入れています。また、ICTの活用場面を設定しています。

学図ですが、巻頭に問題解決学習の展開の基本を紹介しています。そして、巻末資料で記録の仕方や自分の考えの伝え方、相手の意見の聞き方を掲載し、思考力、表現力などの育成を図っています。ICTの活用についても紹介があります。

教出ですが、巻頭に児童がみずからの問題を解決していくときの学習の流れを示しており、自分の考えを伝えたり他者の考えを聞いたりする児童同士の意見交換の場面を重視しています。ICT活用の調べ学習の場面も紹介しています。

最後になりますが、啓林館では巻頭で具体的な学習に入る前に問題解決の流れを示しています。観察、実験の予想、計画、考察の場面では、適宜話し合いを設け、具体的な発問を例示しています。また、ICTの積極的な活用を促すため、PCなどのマークで示しています。

以上で理科の教科用図書の説明を終わらせていただきます。

住田委員長 ただいまの報告について質疑を行いたいと思います。

各委員の質問に続いて、選定委員からのご回答をお願いしたいと思います。

それでは、私のほうから、選定委員としてどの教科書を推薦するかということをお願いしたいと思います。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答え申し上げます。

選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行いました。協議終了後、選定委員15名全員が5種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、57点、4番、大日本図書、43点、11番、学校図書、75点、17番、教育出版、45点、61番、啓林館、39点でございました。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点の学校図書、57点の東京書籍、45点の教育出版を推薦いたします。

以上でございます。

住田委員長 他にはどなたか質問者おられますか。

堀川代理。

堀川委員長職務代理者 現在、学校図書を採択して4年使用しておりますが、選定委員会では、各学校からの実績等の話題でどのようなことが上がりましたでしょうか。

住田委員長 お願いいたします。

五十畑選定委員（城ノ上小校長） それでは、私のほうからお答えさせていただきます。

各学校からの報告書によりますと、市内29校の小学校で、現在使用している学校図書が適正であると答えております。

理由といたしましては、大きく2つありました。1つ目は、学習の流れがわかりやすくまとめられているので指導しやすい。2つ目は、課題、実験方法が明確でわかりやすい。特に、写真が見やすく、そこから児童が予想を立てやすいということでした。そして、選考委員会では、このうち学習過程について協議いたしました。学習過程についてでは、どの教科書会社でも大きな差異はございませんでしたが、4年間使用しているという点で、子どもたちも教員も学校図書の流れになれており、やはり使いやすいということと、子どもの思考の流れに合っているのではないかという意見が出ました。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 現場の先生方が現在使用していて、使いづらいなどの意見はありましたか。適正でないお答えした学校が1校あったようですけれども。

住田委員長 お願いします。

五十畑選定委員（城ノ上小校長） 学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、特に使いづらいという意見はありませんでした。適正でないと答えた学校の意見については、学校図書の特色でもあります。単元の導入の部分で子どもたちにいろいろな体験させたり、日常生活を思い浮かべさせ、疑問に思うことややってみたいことを考えさせてから単元の授業につなげていくという特徴がありますので、そのときに教員が子どもたちの発想を生かしながらナビゲートしていく必要が若干あると思います。これは、教員の創意工夫次第で、子どもたちの発想力を広げていくことができるとも考えられますので、その点で多少使いづらいと感じたのではないかというふうに考えております。子どもたちの発想を生かしながら授業を組み立てるということは、子どもたちの思考力を高めるために大事なことでありと考えております。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 1号委員で保護者の方が入っていましたが、どのような意見が出ましたでしょうか。

五十畑選定委員（城ノ上小校長） お答えします。

実験がまず多く載っており、先生方は大変であるという意見が出ましたが、大変教科書は写真やイラストが多くあり、見やすいという意見がございました。

以上です。

住田委員長 他にはどなたかご意見ございますでしょうか。ご質問ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、質疑のほうを終わらせていただこうかと思います。

それでは、協議のほうに入りますけれども、今回の協議の中心というのは、学校図書という会社のものを4年間使用してどうであったかということなのでありますけれども、学校の報告書でもって29校の学校が適正であったと回答しているわけでありまして、1校だけが適正でないというふうな感じで答えているわけですが、こういった点につきまして4年間の実績ということでの皆さんのご意見等ございますでしょうか。

それでは、私のほうから、前回学校図書というものの教科書を選定したわけでありましてけれども、学校図書も教科書をよく見ますと、非常に学習の流れがわかりやすかったなというふうに私は思っています。そういう点でよかったなと。先生方あるいは子どもたちもよかったのではないかというふうに思います。

それから、実験というのはどうしても怖い事故が発生するというわけで、学校図書の教科書を手に取っていただければと思うのですが、そこに書いてある。どの学年でもいいですけれども、注意というところが非常にきちっと出ているではないですか。赤字でわかるように。他の会社のものより、私はここがよかったなと。確かに他の会社にも注意すべきものがあるのです。特にこの学校図書の中で、私はこれと思ったのが試験管の洗いで、下に指を置くのだ。これはなかなか先生方は知っている人がいない。ぱっといったら穴があいてしまうのです。そういうことまで注意をしていると。

そして、あとやけどの注意では、あちこちで火を使うせいもありますけれども、たくさん注意すべきことが書いてあります。そして、よかったのは、やけどした後どう対処するのかということも載っております。そういう点が私はよかったなと。それから、アルコールランプを使うなんというのもあったのですが、そのときには約束としてちゃんと書いてあります。そういう点が私は4年間使っていてよかったなと。

それから、どこの教科書会社にもないのですが、必ず科学に貢献した方、偉人として、後ろに科学者の言葉として載っているわけです。言葉のほうは子どもはどの程度読むかどうか知りませんが、大体こういうことで私なんかは、野口英世、すぐ覚えたのです。一生ずっと頭の中に入っているだろうと思うのです。そういう点でこの会社の本は、私はよかったなと。

それから、1、2年でもって生活科、それが3年生になると理科になっていくわけですが、ぱっと開いたときに3年生のを見るとわかるのですが、権現堂のあの桜の絵、桜の土手に桜が咲いていて、そして菜の花がずっと黄色い花が咲いている。あの絵は、新たに理科ということが始まったときの感激といいますか。これはいいものを使ったなというふうに私は思いました。

あと、とにかく注意事項がきちんと書いてあるといったようなことで、他の会社よりはよかつ

たのではないか。ショート回路まで、わざとショートで熱を持つような回路をつくらせるような、そういうときの注意とか、そんなような話もあって非常によかったと。

他の方、いかがでしょうか、4年間の話で言いますと。

荒木委員。

荒木委員 単元の導入でいろいろなことを子どもたちに考えさせてから、次の授業につなげていくときに、教員がナビゲートしていく必要があるという点は、若い先生が増えていく中、どのようなかとは思いますが、教える側の教員の創意工夫次第で、子どもたちの発想力を広げていくことができるという点は、これからの変化の激しい世の中で活躍する子どもを育てる上で大事なことでないかと思います。

住田委員長 教育長。

吉田教育長 実験については、発達段階や、あるいは小学校は教科担任制ではありませんので、実験準備に要する時間への配慮などを考えると、操作が簡潔であり、かつ操作の流れがわかりやすいことあるいは児童の理解に直結すること、そういうような操作を取り上げることが大事となってくるとは思いますが、現在使用の教科書は学校の報告書からも、学習者、指導者の双方にとって明確でわかりやすくなっているものと考えております。その点で、引き続きということでもいいのかなと思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、それでは続いた協議で、では学校図書以外の教科書について、皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思いますと思うのですが、いかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 先ほど選定委員の先生から、学習過程についてはどこの教科書会社も大きな差はないというふうな説明がございまして、改めてこの学習過程について見ましたけれども、各社とも観察、実験など問題解決の流れを示していて、子どもたちにも先生方も使いやすいのではないかと思います。

また、いずれの教科書も冒頭に学習の流れというものがわかりやすく書いてあって、そういう意味では、常に振り返りながら学習のステップを復習することができるのではないかというふうに感じました。

また、学校図書に関しましては、学習の流れの中の予想の部分に「話し合い」というものが加えられていて、小集団の活動によって予想を導き出すことを重視する傾向が見られるのではないかと感じました。

また、学習の確かめがチェックリストのようになっていて、児童自身が手順を追って学習できるよう工夫されているように見受けられました。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 東書は、実験方法の説明が大きく見やすく、記述内容を十分に精選し、必要な情報を的確に伝えているという印象を持ちました。

東書と学図は、準備するものの一覧がチェックリストとして示しており、児童にも教師にも準備するものが明確で進めやすいのではないかと思います。

以上です。

住田委員長 他にどなたかございますでしょうか。

では、全体を通して何かご協議いただくというのはございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、ないようですので、それでは理科の教科用図書に係る採択に入りたいと思います。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、採択に入るのですが、採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものとしたしたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 それでは、投票箱のご用意をお願いいたします。

〔投票箱点検〕

住田委員長 それでは、投票に移らせていただきます。点呼をお願いします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票を終了いたします。投票漏れはございませんね。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人といたしまして、進藤委員、それから荒木委員をお願いいたしたいと思います。

〔立会人立ち会の上開票〕

住田委員長 それでは、集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

2番	東京書籍	20票
4番	大日本図書	16票
11番	学校図書	24票
17番	教育出版	16票
61番	啓林館	16票

ということであります。ですから、学校図書を採用したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

それでは、会議を続けます。

生活の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明をいただくために、選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 それでは、生活の教科用図書について、選定委員より教科用資料のご説明をお願いいたします。

菅野選定委員（蒲生第二小教頭） では、よろしくお願いいたします。生活にかかわる教科用図書についてご説明申し上げます。

まず、4番目、表記・表現につきまして全て同じような形なので、報告をさせていただきます。いずれの教科書会社も、小学校低学年の児童が学習内容をしっかりと捉えることができるような表記をしております。また、事象を的確に捉えることができるように、写真や資料が各社とも工夫されており、子どもたちの興味、関心を引くような内容になっております。

では、各教科書会社の特徴についてご説明申し上げます。まず、東書についてです。教科の目標とのかかわりについてです。児童の体験を豊かにする資料が豊富で、学習の目当てや活動事例を例示することにより、児童自身が行動目標を明確にすることができます。自分と身近な人との交流や伝え合い活動の資料も豊富に例示されております。さまざまなかかわりを繰り返し行うことで、自分のよさや可能性に気がつく工夫がなされております。

内容についてです。2年生で学習する下巻には、「べんりてちょう」がついており、取材の仕方、手紙や電話の使い方、集めた情報を整理、分析する仕方など、3年生以降で学習する総合的な学習の時間につなげられるページが設定されております。

資料についてです。図鑑を思わせるような写実的な絵や枯れ葉の実物大の絵を用いて詳しく紹介し、児童のさまざまな気づきを多様な方法で表現できるような構成になっております。

総括といたしまして、「ポケットずかん」、「べんりてちょう」など主体的な体験活動を支える資料が豊富に盛り込まれております。話し合い活動や振り返り活動などの例示も明示してあり、言語活動を子どもたちがイメージしやすい構成になっております。

続いて、大日本です。教科の目標とのかかわりについてです。伝え合い活動や話し合い活動の場を数多く例示し、自分の思いを持って主体的に取り組めるような工夫がなされております。あらゆる場面で身近な人と交流する活動内容になっており、人とのかかわりから自分のよさや役割に気づくことができるような構成になっております。また、継続的なかかわり合いから、命の重

みを感じ取られるような配慮もなされております。

内容についてです。上巻の最初は幼稚園からのつながりを考えた易しい図柄で表現されております。生活習慣の習得ができるように「がくしゅうどうぐばこ」のページが設定されております。

資料についてです。各單元ごとに「せいかつことば」というものがあり、低学年児童が参考にできる言葉や言い回し、語録集が豊富に記載されております。また、秋探しの單元では、木、葉、実の3点セットが示され、児童が自然事象のつながりをイメージできるような構成になっております。

総括といたしまして、語彙力、表現力を高め、言語文化への理解を促すためのコラムを掲載し、ICT活用事例も取り上げております。自然の不思議さやおもしろさの実感など、理解につながる要素や多様な学習場面が設定される構成となっております。

学図についてです。教科の目標とのかかわりについてです。活動展開が4つのステップで構成され、児童が自分でこれから学習する課題を見つけたり、課題を解決していく方法を学びながら身につけることができるように工夫されております。また、さまざまな人との交流を繰り返し行うことで自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信を持って生活できるように配慮された構成になっています。

内容についてです。下巻で全体を通して児童自身が探究を繰り返す構成になっております。説明の方法や観察日記、記録のとり方など他教科との連携も図られております。

資料として、例えば栽培單元では、野菜、草花の成長過程が比較しやすいように写真の位置が固定され、種の状態から結実までの過程が理解しやすくなっております。さまざまな單元で児童同士の会話が挿入されており、状況に応じたコミュニケーション方法が理解できます。

総括といたしまして、各大單元が終了した後、巻末の「きみならどうする」にジャンプする構成となっており、学習が実生活へとつながるよう、また自立への基礎が養われるような工夫が見られます。学習カードや学び方図鑑に自己評価欄が設けられ、自分への気づきを容易に支えております。

続きまして、教出についてです。教科の目標とのかかわりです。学習の狙い、ヒントや教科関連などわかりやすく示されております。児童が学習意欲を持って探究的に取り組めるよう配慮されております。各單元末では、学習したことを家庭や地域に広げ、自分と身近な人々とののかかわりに関心が持てるよう配慮されております。

内容についてです。上巻の「ぐんぐんポケット」で1年生の児童に自立への基礎を育てるための言葉や道具の使い方、安全指導などが的確に示されております。下巻では、総合的な学習の時間で応用できる調べ方などが掲載されております。

資料についてです。上下巻を通しまして、授業の中での具体的な活動の様子を全体像として絵で示し、リアルな写真で児童の興味、関心を高めております。

総括といたしまして、表現力育成のため、言語活動の他、絵、体、歌での表現活動も取り入れる構成となっております。書くことを意識した生活科ノートも掲載しております。

光村についてです。教科の目標とのかかわりについて、活動の展開がホップ、ステップ、ジャンプの3段階で構成されております。目的とIT意識を明確にした交流活動が位置づけられております。

内容についてです。上巻の初めに写真や絵が中心となり、入学した児童にわかりやすい資料提示となっております。

資料についてです。さまざまな画風の絵が導入され、各単元で示される写真も迫力が感じられます。どうすればいいのかなのコーナーが示され、児童に考える機会を与えております。

総括といたしまして、教えたり指示したりするのではなく、児童の活動や気づきのヒントを示し、主体的な活動を促す構成となっております。伝え合う力を育成するため、目的とIT意識を明確にし、必然性のある場で双方向的な交流活動を意識した構成となっております。

啓林館についてです。教科の目標とのかかわりで、活動の展開を「わくわく、いきいき、つたえあおう、ちゃれんじ」の4段階で構成し、単元を通して活動が深められるような配慮がなされております。さまざまな活動の中で生活上必要な習慣や技能が身につけられるよう工夫されております。

内容についてです。各単元の初めの見開きを2ページにし、挿絵が示され、その単元で何を学習するのか一目でわかり、学習内容を理解できるようになっております。

資料についてです。別冊の生活探検ブックは、小型版の図鑑として郊外学習でも活用しやすくなっております。

総括としまして、表現力、言語能力の育成が意識され、コミュニケーションや思いを表現する方法、振り返り場面の提示方法が多様に示されている教科書です。

最後に、日文です。教科の目標とのかかわりです。毎時間の学習の目当てが示され、児童が主体的に課題に向き合い、ウェビング法、KJ法が取り上げられ、問題解決に取り組めるよう構成されております。事象に繰り返しかかわり、比べる活動を通して地域のよさに気づき、親しみ、愛着が持てるような構成がされております。

内容についてです。「1年生になったら」の単元で基本的生活習慣を身につけさせる構成となっております。巻末の「なんでもずかん」では、総合的な学習の時間へのつながりが意識され、学習のまとめ方も示されております。児童の観察ノートや振り返りノートを多数掲載し、児童が書くときに参考になるように配慮されております。見開き3から4ページを使い、全体像を見せる構成にもなっております。

総括といたしまして、カード、写真、絵、立体作品などさまざまな表現方法でのまとめ方を例示し、表現力の育成を意識した構成となっております。巻末には、どの単元でも使用できる「な

んでもずかん」を設け、発展的な項目も記載されております。

生活科の教科用図書の説明は以上でございます。

住田委員長 ただいまご報告をいただいたわけでありますけれども、各委員からの質問を受けたいと思います。そして、それについて選定委員のご回答をお願いしたいというふうに思います。

それで、まず選定委員として、たくさんの会社があるわけですが、7種類の会社の中でどの教科書を推薦されるかお教えいただきたいと思います。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答え申し上げます。

選定委員会では、これまでの教科と同様ですが、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行いました。協議終了後、選定委員15名全員が7種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、56点、4番、大日本図書、41点、11番、学校図書、75点、17番、教育出版、46点、38番、光村図書、36点、61番、啓林館、39点、116番、日本文教出版、33点でございます。

本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点の学校図書、56点の東京書籍、46点の教育出版を推薦いたします。

以上でございます。

住田委員長 他にどなたか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 学校図書を4年間使用してきまして、選定委員会では、各学校からの実績などの話題でどのようなことが上がっておりますでしょうか。

菅野選定委員（蒲生第二小教頭） お答えします。

各学校からの報告書によりますと、市内30校全ての小学校で、現在使用している学校図書が適正であると答えが出ております。理由としましては、最も多かった意見として、イラストや写真が多く使用されているので、子どもたちに非常にわかりやすい。次に多かったのが、写真が多く、具体的な活動例が掲載されていることでした。

それを受けまして、選定委員会では、掲載されている写真やイラストについてが話題になりました。学図は、写真やイラストが多いので、児童の興味を引きやすいという意見や写真が温かく、児童にとってわくわくする内容の写真から、児童に活動のイメージを持たせやすい、また子どもの側の視点で見ますと、使いやすいという意見もございました。

また、教師側の視点としましては、生活科は活動が中心になりますので、やはり4年間使用してきて、学校で作成した教材教具がすぐに利用できるというメリットもあるのではないかという話し合いになりました。

以上でございます。

住田委員長 他にどなたか。

進藤委員。

進藤委員 生活に関しましては、適正ではないと答えた学校はどこもなかったようですけれども、
実際現場の先生方が現在使用していて、使いづらいなというふうに感じたなどの意見はありました
でしょうか。

住田委員長 どうぞ。

菅野選定委員（蒲生第二小教頭） お答えします。

学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、使いづらいという意見はございませんでした。

以上です。

住田委員長 それでは、私のほうからお聞きしたいのですが、3年生になりますと、生活科
から理科とかあるいは社会というふうな発展があるかと思うのですが、そういった発展に
ついてのお話というのは出てきたのでしょうか。

菅野選定委員（蒲生第二小教頭） お答えします。

巻末にたくさん学習の図鑑ですとか言葉の学習とか出ているのですが、その内容から3、4年
生に上がっていく上で理科につながるということで、学図もいい教科書なのではないかという意
見は出ました。

住田委員長 他にどなたか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、質疑のほうを終わらせて、協議のほうに移らせていただきます。

今回の協議の中心は、学校図書を4年間使用していてどうであったかということでありまして、
全て30校の小学校が適正であるというふうに答えているわけでありまして、したがって、選定
委員からのご報告でもあったように、特に課題等はないのかなと思いますが、ご意見を願いまし
たいのですけれども、いかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 学校図書のまとめを見まして、写真やイラストのことが出ておりましたので、教科書を見
てみますと、確かに学校図書はぱっと開いたときに、視的関心を引き起こすような大きな写真
やイラストがあり、見やすいなと思いました。1、2年生の子どもたちにとって、導入時に活動
のイメージを持たせることはとても大事だと思うのですが、写真やイラストが豊富にある
ことで活動のイメージが視覚からも持ちやすくなり、教える側も使いやすいのではないかと思
います。

住田委員長 他の方はどうでしょうか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 学図の「ものしりノート」、「生きものずかん」でも子どもたちの興味を引く工夫があって、子どもたちが主体的に活動に取り組むことができるのではないかと感じました。現在使用している学校図書が児童の実態に合っており、体験活動を行いやすいとありますが、長年使っているということもあり、選定委員の説明にもありましたけれども、やはり先生方にとって、自作の教材やプリントがすぐに活用できるというのは、負担軽減を考えても大きいことかなと思いました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

教育長。

吉田教育長 生活科では気づきを大事にすると。気づきの質を高めるというふうなことをいろいろ言われるのですが、どういうことなのかなと私も思っただけなのですが、生活科の指導案の検討しているところに出くわして、ダンゴムシとワラジムシ、ダンゴムシは遅いとかワラジムシは速いとかという段階から、子どもに活動させてそれを見させるわけですが、ダンゴムシは丸くなる。丸くなるからかたくなる。ワラジムシのほうは逃げる。この中に気づきの質が高まっているなんていうことを、教師が見取るということは大事なのだなというふうに私のほうが気づかされたのですけれども。

いずれにしても、生活科では児童の主体的な活動より、どうしてそうなっているかなどの気づきの質を高めていくことによって、課題解決が進み、次への学習につながっていく。種の保存にまでつながっていくのかどうか分かりませんが、そういうつながりが見えてくることから、この点についてどのような配慮が見られるかが大事になってまいりますけれども、教科書の使用実績からも、現行の教科書の工夫のよさが見て取ることができるのかなというふうに思っております。

住田委員長 私が感じたのが、よかったなと思うのは、学校図書は結構工作を自分たちでつくらせている。そういうところが多かったのではないかなというふうに思います。例えばこういった、つくって遊ぼうとして、ジャンプでぽんとか、それから笛をつくるとか、いろんなことが出てきて、例えばペットボトルでこういうものをつくる。こういった工作をたくさんやっていたのが、他社よりは少し違っているのかなというように、そういう特徴がよかったなと思っております。

他ではいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、学校図書以外の教科書について協議していきたいと思うのですけれども、ご意見をお聞かせ願えますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 課題意識を持たせるためには、導入というものが大事ではないかと思っております。そこで、

各社の導入の工夫を見ますと、それぞれ工夫があって、見ていて楽しいなと思うのですけれども、東京書籍や教育出版は単元の導入時において、児童に上手に気づかせてあげられるような児童目線に近い形で記述がされていると感じました。

住田委員長 他には。

私もどこの教科書も非常に写真とかイラストとか、本当に多く使われていると思います。そういう点で考えますと、とにかく絵本のように1、2年生にはいいのかな。それがちゃんと具体的な活動や体験を促しているのではないかな。単元の導入においては、学校図書とかあるいは教育出版とか、児童の活動場面の写真を大きく掲載していたり、あと児童のつぶやきや児童の投げかけというものが示されたりしています。どちらも学習意欲を注ぐようにうまくできているなど。私はですから他のところも大差はないのではないかなと思いつつも、そういうふうに読ませていただいたわけであります。

本当にこれは難しいなといいますか、レベルが高そうだなと思うのは、例えば東京書籍の68ページにドングリの話が出てきたり、これは上ですから、1年生ぐらいでこんなことまでやるのか。同じようなことが教育出版でも言えるのではないかなと思うのです。これは上のほうの78ページ、秋の図鑑というのがありまして、葉っぱやドングリなど取り上げ、こんなにドングリというのは種類があるのかというのを、私も改めて気がついたくらいのレベルのもんです。

それから、大日本図書なんかで、これは130ページ、ひもの結び方、こんな難しいことをここで載せているわけです。確かに日常生活で大事なことなのですからけれども、とにかくいろんな工夫がなされておりました。

他にどなたか。他に協議したいことはございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 では、ないようですので、生活の教科用図書に係る採択に入ります。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものとしたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付していただきたいと思います。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 それでは、投票箱のご用意をお願いいたします。

〔投票箱点検〕

住田委員長 それでは、投票をお願いしたいので、点呼をお願いいたします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票は終了いたしました。投票漏れはございませんね。

それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として、荒木委員、それから堀川委員にお願いしたいと思います。

〔立会人立ち会の上開票〕

住田委員長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

2 番	東京書籍	1 8 票
4 番	大日本図書	1 6 票
1 1 番	学校図書	2 4 票
1 7 番	教育出版	1 8 票
3 8 番	光村図書	1 6 票
6 1 番	啓林館	1 6 票
1 1 6 番	日本文教出版	1 5 票

その結果、学校図書を採択いたします。いかがでしょうか。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

さて、現在審議しております第33号議案ですけれども、本日の審議はここまでとし、以降の種目につきましては、日を改めまして8月2日、木曜日、午前10時から引き続いて審議を行いたいと存じます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

◎閉会の宣告

住田委員長 それでは、本日の会議はこれにて閉会いたします。

どうもありがとうございました。

(午後 4時01分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

委員長

住田 俊

委員

堀川 智子

委員

進藤 秀子

委員

荒木 明子

委員

吉田 茂

(教育長)

書記

教育総務課副課長

並木 智史